スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

## 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

# 福井県鯖江市


自 治 体 名 ： 福井県鯖江市
担 当 課 名 ： 学校教育課 スポーツ課
電 話 番 号 ： 代表 0778-53-2260

# 1.自治体の基本情報

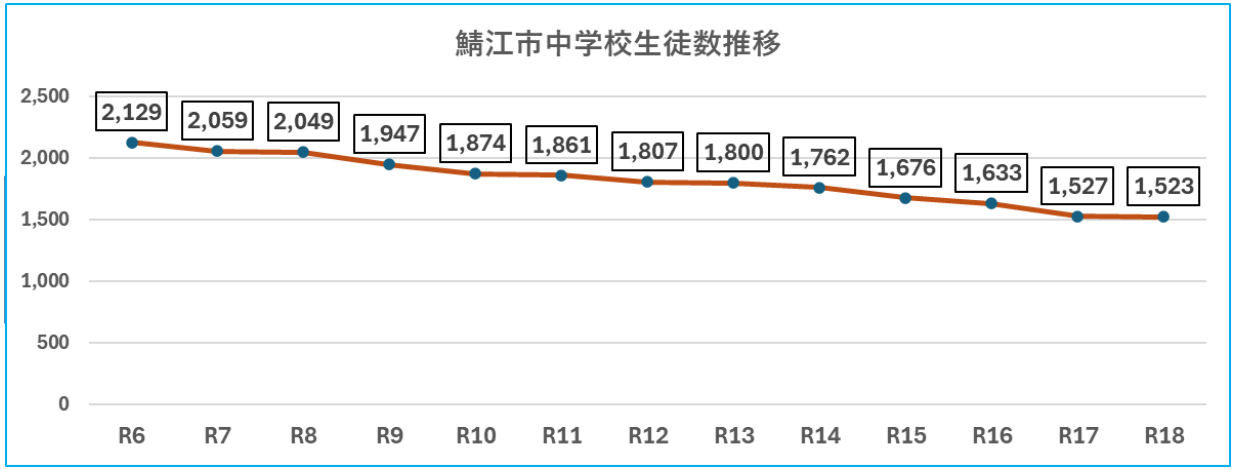
スポーツ庁

## 基本情報

| | |
|---|---|
| 面積 | 84.59㎢ |
| 人口 | 68,179人 |
| 公立中学校数 | 3校 |
| 公立中学校生徒数 | 2,049人 |
| 部活動数<br>（運動部活動のみ） | 42部活 |
| 地域クラブ活動数 | 51クラブ |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済 |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

- 本市の中学校は、大規模校2校、中規模校1校であり、現在、少子化による学校部活動存続等の問題は出ていない。
- 本市地域展開の取組は、令和3年度より国のモデル事業を実践から始めている。
- 令和4年度に協議会を設置し、中学校区にある3つの総合型地域スポーツクラブを運営団体、傘下の種目を実施主体とすることとした。また、基本方針において、令和5年度から7年度までを学校部活動と地域クラブ活動の併存期間（連携・協働）とし、令和8年度より本格開始できる体制づくりを進めている。
- 活動拠点は中学校施設を主会場とし、市内施設も活用している。
- 会員になった中学生は、どのクラブにも参加できるよう、3クラブ合同での個人保険加入、また、団体としての責任を持ち、物品等の破損補償や運営団体での損害賠償対応のため、団体保険に加入している。
- 「クラブ組織再編委員会」を設け、新しい会費の設定および持続可能な運営団体育成を目指すため、将来に向けたクラブ再編等を学識経験者からも意見を聞き、来年度は事務局の統一化、将来的にはクラブ統合することとなった。



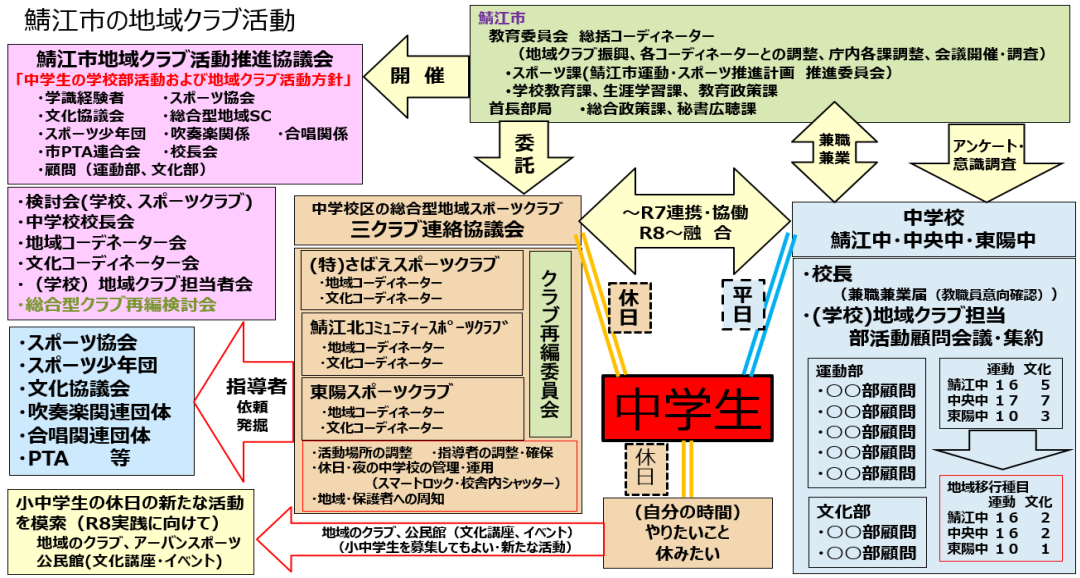

出典：鯖江市教育委員会資料抜粋

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制・役割

### ●市区町村における推進体制図　※次項に拡大図有




### ●行政組織内での役割分担

**◉教育委員会**（学校教育課、スポーツ課、生涯学習課、教育政策課）

- 学校教育課・・・学校部活動、教職員兼職兼業、中体連予算、準要保護
- 総括コーディネーター・・・地域展開構想、計画作成、教育委員会・市長部局との調整、クラブ運営助言、地域クラブ関係会議開催、関係団体との調整
- スポーツ課　・・・総合型地域スポーツクラブ、学校開放、公認指導者資格、運動・スポーツ推進計画
- 生涯学習課・・・公民館活動（休日文化講座小中受け入れ）
- 教育政策課・・・学校施設整備、管理

**◉首長部局**（総合政策課、市長広聴課）

- 総合政策課・・・スポーツSDGs（指導者研修会開催）
- 市長広聴課・・・市広報誌での地域展開周知

## 年間の事業スケジュール

令和7年

毎月開催　三クラブ連絡協議会

4月、9月、1月開催

学校・・・中学校長会、（学校）地域クラブ担当者会

クラブ・・・地域・文化CD会、各クラブ事務局説明会

4月　各スポーツクラブ役員への説明会

クラブ組織再編委員会

5月　各中学校PTA総会への出席（各クラブ理事長説明）

クラブ組織再編委員会

6月　三クラブ打合せ会

7月　クラブ組織再編委員会

鯖江市運動・スポーツ推進計画　推進委員会

8月　関係団体との調整会議

9月　三クラブ広報委員会

10月　クラブ組織再編委員会

地域クラブ活動検討会

11月　三クラブ広報委員会、三クラブ打合せ会

令和8年度各中学校入学説明会

12月　教育委員会（令和7年までの活動、令和8年以降の活動説明）

地域クラブ活動推進協議会（新会費、ガイドライン）

三クラブ広報委員会

1月　鯖江市地域クラブ活動推進協議会

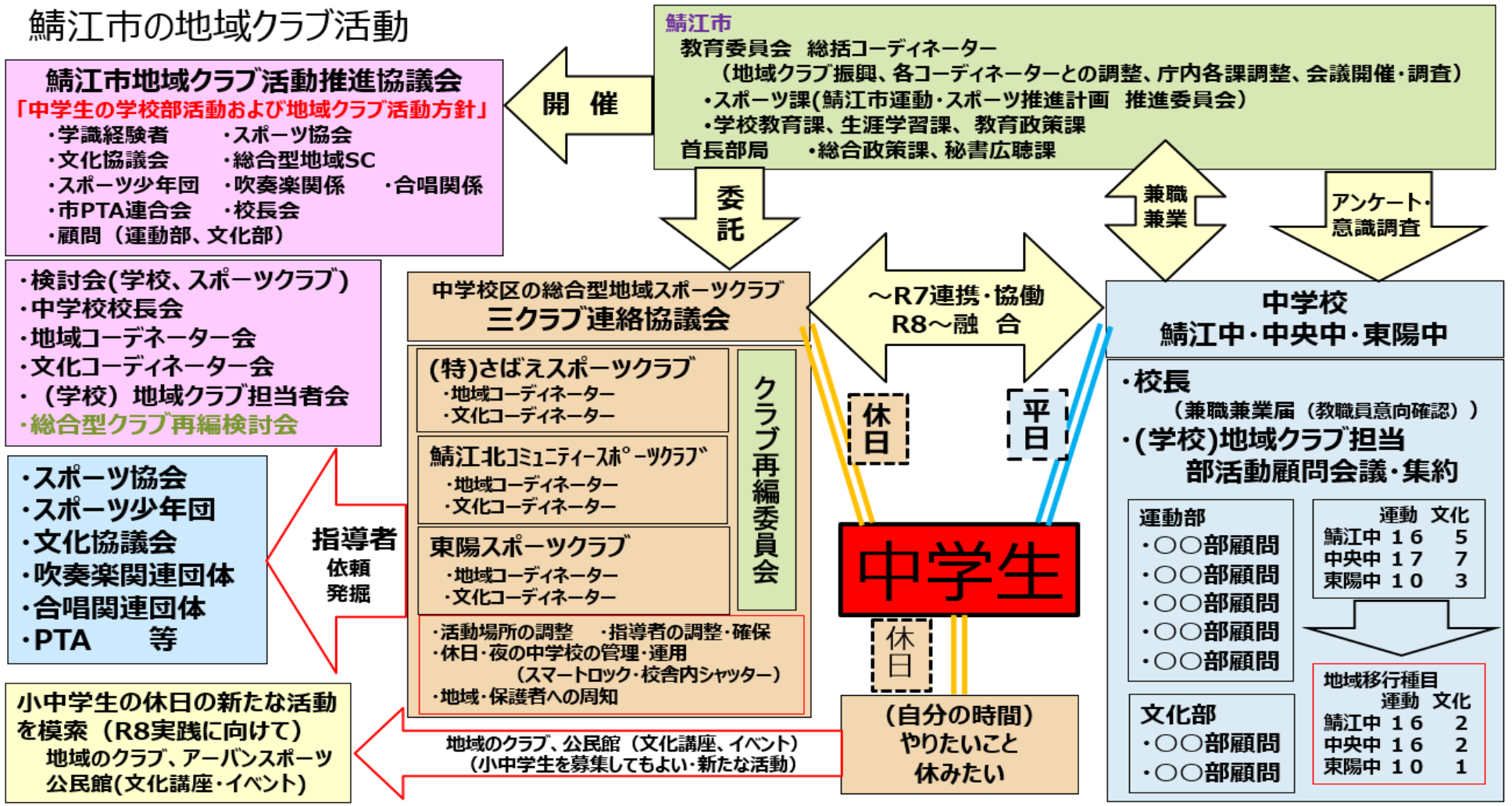
2月～3月　関係団体・学校・保護者向け説明

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の運営実績

### ①全体に関すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| 実施した地域クラブ活動総数 | | 51クラブ | |
| ケース別地域クラブ活動数 | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | | 41クラブ（41部活動） |
| | B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数 | | 9クラブ |
| 全体の指導者数 | 146人 | 全体の運営スタッフ数 | 5人 |

### ②各地域クラブ活動に関すること（中学生活動）

| 地域クラブ活動名 | 運営団体種別 | 種目 | 実施回数（平日・休日） | 実施時間帯 | 参加者（学年別） | 実施期間 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （特非）さばえスポーツクラブ | 総合型地域スポーツクラブ | 陸上、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、柔道、剣道、軟式野球、卓球、サッカー、新体操、ホッケー | ・休日4回（月） | 休日 9:00～17:00（約3時間） | 中学生（1～3）<br>（陸上）小中高校生 | 4月～3月 | 57人 | 3人 | 6,000円/年額 | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |
| | | なぎなた、硬式テニス、ボクシング、合気道 | ・平日（週）1回～2回<br>・休日（週）0回～1回 | 平日 18:00～20:00<br>休日 9:00～16:00（約3時間） | 小中学生<br>（合気道）一般も含む | | － | | | 地域クラブ |
| 東陽スポーツクラブ | 総合型地域スポーツクラブ | 陸上、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、剣道、軟式野球、卓球 | ・休日4回（月） | 休日 9:00～17:00（約3時間） | 中学生（1～3）<br>（陸上）小中高校生 | | 39人 | 1人 | | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の運営実績

### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名 | 運営団体種別 | 種目 | 実施回数（平日・休日） | 実施時間帯 | 参加者（学年別） | 実施期間 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 鯖江北コミュニティースポーツクラブ | 総合型地域スポーツクラブ | 陸上、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、柔道、剣道、軟式野球、卓球、サッカー、バドミントン | ・休日4回（月） | 休日 9:00～17:00（約3時間） | 中学生（1～3）（陸上）小中高校生 ※3クラブ合同 | 4月～3月 | 50人 | 1人 | 6,000円/年額 | 中体連：部活動<br>その他：地域クラブ |
| | | なぎなた、硬式テニス 少林寺拳法 | ・平日（週）1回～2回<br>・休日（週）0回～1回 | 平日 18:00～20:00<br>休日 9:00～16:00（約3時間） | 小中学生<br>（少林寺）一般も含む | | － | | | 地域クラブ |

### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- ●三スポーツクラブ　会員募集チラシ内で活動紹介（市内全戸配布）
- ●2月鯖江市広報誌　地域クラブ活動本格実施・会費説明（市内全戸配布）
- ●各運営団体
  - ○ さばえスポーツクラブ
    - スラックライン（アーバンスポーツ）を毎週定期開催
      一般、親子での参加実績。
      中学生も参加することがあるが、夜開催のため多くは見られない
    - ショートテニス（ニュースポーツ）を毎週定期開催
      一般、親子での参加実績。
      ソフトテニス部に所属している中学生の参加があるが、夜開催のため保護者送迎が可能な中学生が参加。
  - ○ 鯖江北コミュニティースポーツクラブ　イベント　BMX、パルクール体験会　　募集は市内小中学生
  - ○ 東陽スポーツクラブ　イベント　「ウォーターフェス」
    - 東陽中学校区の公民館と協力し、中学生が企画したイベントを開催

# 2.実証内容と成果

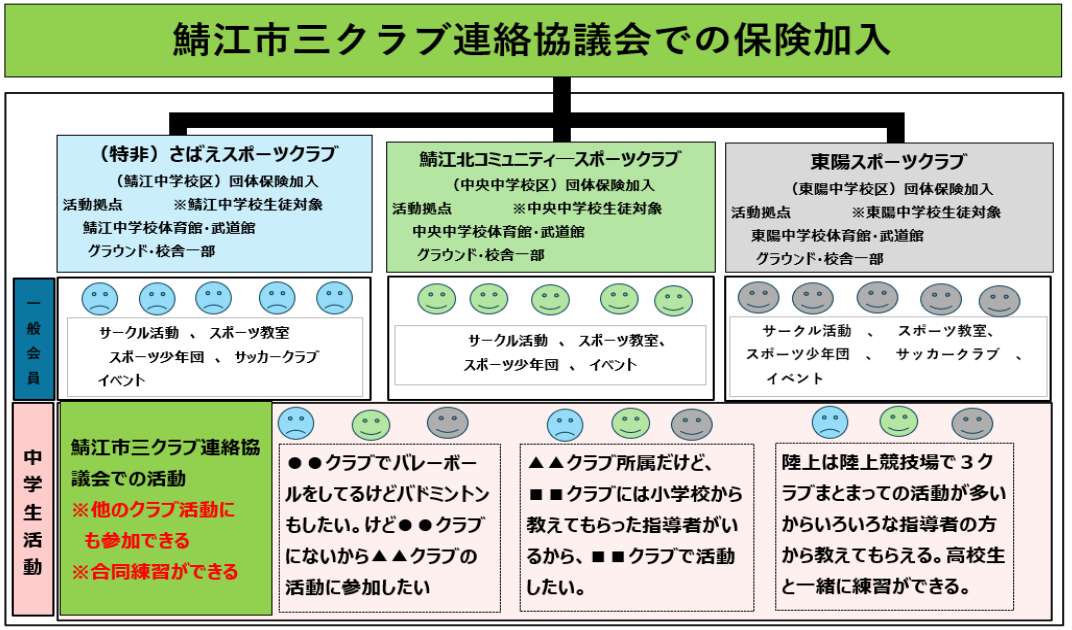
スポーツ庁

## 主な取組例

### ●三クラブ連絡協議会　活動概要

| | |
|---|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | 陸上、バレーボール、バスケットボール、ソフトテニス、柔道、剣道、軟式野球、卓球、サッカー、バドミントン、新体操、ホッケー |
| 運営団体名 | 鯖江市総合型スポーツ三クラブ連絡協議会<br>※令和8年～事務局一本化、今後組織再編<br>（特非）さばえSC、鯖江北CSC、東陽SC<br>※三クラブともJSPO登録クラブ |
| 期間と日数 | 全種目：令和7年4月5日<br>～ 令和8年3月29日<br>月4回程度 |
| 指導者の主な属性 | 総合型地域スポーツクラブ指導者<br>兼職兼業（教員）、保護者 |
| 活動場所 | 中学校体育施設<br>社会体育施設 |
| 主な移動手段 | 徒歩、自転車、保護者による送迎 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | クラブ会員費（運営費）<br>年会費　6,000円 |
| 1人あたりの保険料 | スポーツ安全保険<br>生徒1人　：　800円/年<br>指導者1人：1,850円/年<br>団体保険<br>各クラブ：約100,000円/年 |

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図 ※次項に拡大図有




### ●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

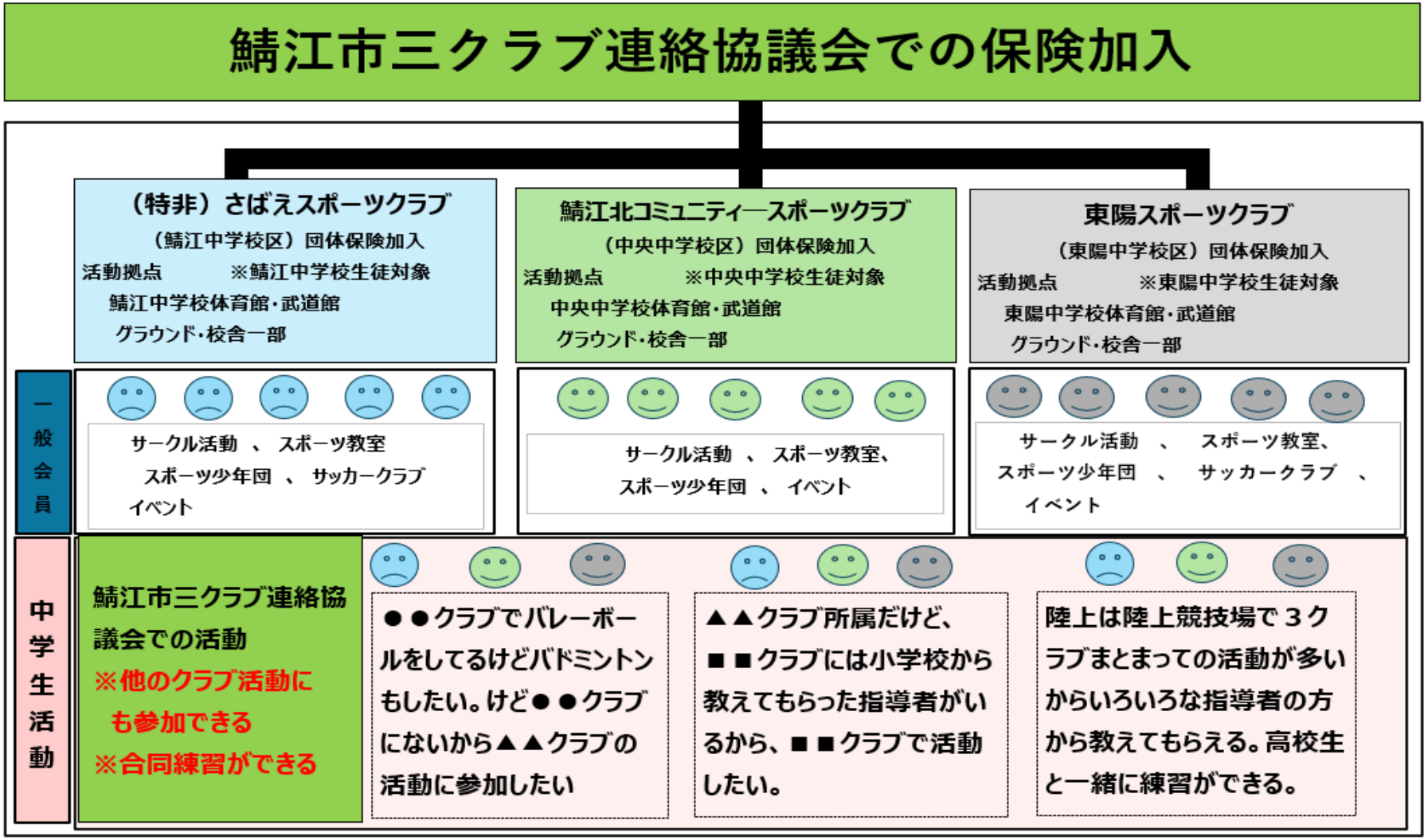
○ 自治体　役割：総括のコーディネート（地域コーディネーター、各クラブからの相談対応）
○ 統括責任者（各クラブ地域コーディネーター　3名）
　役割：各種目の指導者との連絡調整、他クラブで活動したい会員（中学生）サポート
　　指導者の質の向上と量の確保に向けた取組（研修会参加依頼等）
　　各種トラブルへの対応
○ 運営スタッフ　5名
　役割：学校体育・校舎施設調整、社会体育施設での合同練習時の施設調整
　　指導者謝金関連業務、会員相談窓口

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 主な取組例

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



# 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

○ 運営団体（中学校区総合型地域スポーツクラブ）
運営団体に、責任ある運営・危機管理マニュアルの作成・会員が満足できる活動・保護者の不安解消等の指導・助言・協力を実施
○ 実施主体でのトラブル
実施主体（各種目）の状況把握を地域コーディネーターに依頼し、様々な課題に対し、解決に向け市とクラブで協議しながら対応
○ 関係団体との協議・調整（スポーツ協会等）
令和8年度の完全実施に向け、指導者が不足している種目の再確認を運営団体である各総合クラブ（地域コーディネーター）に依頼。
不足する種目指導者依頼をスポーツ協会（種目協会）に市と三クラブで直接依頼
○ 企業・大学との連携・調整（指導者派遣等）

#### 取組の成果

○「クラブ組織再編委員会」を設置し、新会費を決定、10数年来協議できなかったクラブ再編の動きが活発化し、令和8年度からは、事務局が統一されることとなった
○ 企業・大学との連携ができる目途が立った

#### 今後の取組における課題

○ 運営団体（中学校区総合型地域スポーツクラブ）の発展
今まであった組織を再編することは、各クラブ役員等にも納得のいく説明が大切であり、相当な熱意と労力が必要
○ 実施主体での様々な課題
現場で起こる課題に対して、地域コーディネーターが対応しているが、対応する内容、事柄が多い

#### 課題への対応方針

○ 運営団体（中学校区総合型地域スポーツクラブ）の発展
国のスポーツ基本計画、中学校部活動の地域展開等をどのようにしていくのか等、将来を見据えた取組であることを説明
持続可能な運営を目指し、クラブ運営の課題を整理して協議することが大切
今はよいタイミングであることを伝えるための市スポーツ全体ビジョンが必要
○ 実施主体での課題解決
令和8年度から、三クラブ事務局が一本化することにより、様々な課題を共有
地域コーディネーターだけでなく、事務局も対応

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

○ 総括コーディネーター
- 市全体の総括、各クラブ（運営団体）への指導・助言・調整
- 会議全般総括
  協議会、検討会、各コーディネーター会、校長会、学校担当者会
  クラブ再編、新会費等調整会議（クラブ組織再編委員会）
- 関係団体との協議・調整（スポーツ協会等）
- 企業・大学との連携・調整（指導者派遣等）
- 市全体関連周知活動、問合せ等対応

○ 地域コーディネーター
- 各クラブ（運営団体）運営、地域・保護者への周知
- 指導者関連（発掘・育成・調整等）
- 学校との報告・連絡・相談・調整

#### 地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

○「クラブ組織再編委員会」を開催し、クラブ一本化の動きを加速
- 令和8年度より三クラブの事務局を一本化
- 事務・手続き等を協力して取組める体制を整備
- 実施主体で起こる様々な課題に対し、事務局も協力し、迅速に対応
- コミュニケーションアプリを採用し、クラブと指導者間の連絡・調整、参加者の出欠確認、活動場所の変更、運営団体と会員（保護者・中学生）との連絡・コミュニケーション力のアップ

#### 運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

○ 令和8年度完全実施に向け、市とクラブで運営・指導者手引きを作成中
○ 指導者の質の保障
公認指導者資格取得支援（鯖江市）
○ 運営団体
3つの総合型地域スポーツクラブは登録団体（JSPO）
クラブ再編後、法人クラブで認定団体（JSPO）を目指すことをクラブ間で共有（現在1クラブはNPO法人格取得）
※（特非）さばえスポーツクラブ
公認会計士を会計監査・相談役、役員に社会保険労務士を入れ運営

#### 地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

○ トラブル・事故関連責任は、運営団体（総合型地域スポーツクラブ）
令和5年鯖江市方針
○ 事故発生時の対応は指導者手引きによる研修において実施予定
（令和7年作成、協議会合意、令和8年度より実施）
- けがや熱中症等の防止・予防
- 事故対応・連絡、校舎・体育館等管理

※ 運営団体（クラブ）、実施主体（指導者）
※ コミュニケーションアプリ活用

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項

○ 指導者の質の保障
- 公認指導者資格種目に対し、本市は運営団体（総合型地域スポーツクラブ）に支援。指導者謝金を無資格指導者より1時間200円多く謝金を支給
- 指導者研修会を開催し、実施主体、運営団体、スポーツ協会、市内高校生が参加し、経験をもとにした選手側の気持ち、指導者側の育成手順、言葉かけ等の話を聞き、質疑応答を行った
- 中学生、保護者に信頼される地域指導者、持続可能な活動・運営とするため、運営団体と学校が認めた指導者を配置
- パワハラ等県主催研修会への参加

○ 指導者の量の確保
- 令和8年度完全実施に向け、運営団体に対して指導者不足の確認
- 不足指導者をスポーツ協会、保護者・企業等に依頼

#### 今後の取組における課題

○ 指導者の質の保障
- 公認指導者資格取得する経費・時間がない等の意見があり、無理に取得するようには依頼できない。
- ICTを活用しての指導に対し、事前準備・当日準備・終了後の中学生へのアフターケア等に対し懸念を示す意見が多く出た。令和8年仮実施により反省点を出すこととなった。

○ 指導者の量の確保
- 関係団体（スポーツ協会の種目協会）に依頼するが、会員不足・高齢化等の諸問題を抱えている状況のところが多い。
- 指導者で保護者の場合、子どもとともにやめていく方が出てきたことで、持続可能な活動かどうかの議論が出てきた。

#### 取組の成果

○ 指導者の質の保障
- 指導者から要望のあった公認資格取得に対応できた（公認・パラスポーツ）令和8年以降も継続。
- 指導者研修では、地域指導者、高校生から多くの質問があり、選手育成の機運が高まった。

○ 指導者の量の確保
- 保護者で指導してもよいと申し出る方が出てきた。

#### 課題への対応方針

○ 指導者の質の確保
- 公認指導者資格取得を地道に依頼する
- ICT活用での指導は、令和8年仮実施により反省点を出すこととなった

○ 指導者の量の確保
- 関係団体はもちろんのこと、総合型地域スポーツクラブが持つ地域情報をもとに個別に依頼していく

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

○ 企業・大学に指導者派遣等の協議を行った
- 企業・大学の指導者派遣に関して、令和8年度より前向きに検討する体制が整いつつある（具体内容を企業・大学と協議し、次年度から実施予定）
- 企業からの指導者派遣が決定した際、市・運営団体・企業での3者協定を締結準備はできたが、企業採用に関し、様々な理由で成功事例がでてこない
- 大学からは、学生の指導者のサポート派遣での単位制の確約を取り、次年度より配置予定・企業・大学の指導者派遣等は、互いのメリットを協議し、企画していくことが必要

#### 指導者研修の内容

| | |
|---|---|
| **研修名** | 子どもたちの個性と成長を育む |
| **講師** | 阿波野秀幸<br>（元プロ野球選手、コーチ） |
| **研修内容** | 野球を通して培った人生観とプロ野球に学ぶジュニア世代の指導で大切なことや、子どもたちのモチベーションをアップさせるコミュニケーション等<br>参加対象<br>地域クラブ活動指導者<br>地域クラブ活動運営団体<br>スポーツ少年団指導者<br>高校（地元高校野球部員・指導者） |

#### 指導者研修会での質疑応答

○ 子どもたちの個性を伸ばし、コミュニケーション能力を上げる方策
- プロにおいても大切であることが分かり感謝、中学生の指導には更に大切であることを理解したが、どのような言葉かけが子どもに伝わるのか。経験上でよいので教えてほしい

○ 少子化以上にスポーツや文化活動をする子どもが減っている。スポーツ・文化を好きになる方法はないものか
- 子どもには成功体験、それをほめるタイミング、指導者の姿勢等様々な要素が絡み合い成長していく。
- 指導者は日々子どもの姿、活動に気を配っていくようにすることが大切

### ●参加者の声

**参加者①**
市内小中高校の指導者が一同に集まり互いの話を聞くことは有意義であった

**参加者②**
・高校生が質問している姿を見て、野球を小中高校と続け、様々な経験の下、成長している姿を見て、続けることの大切さが改めてわかった

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
**イ：指導者の質の保障・量の確保**
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

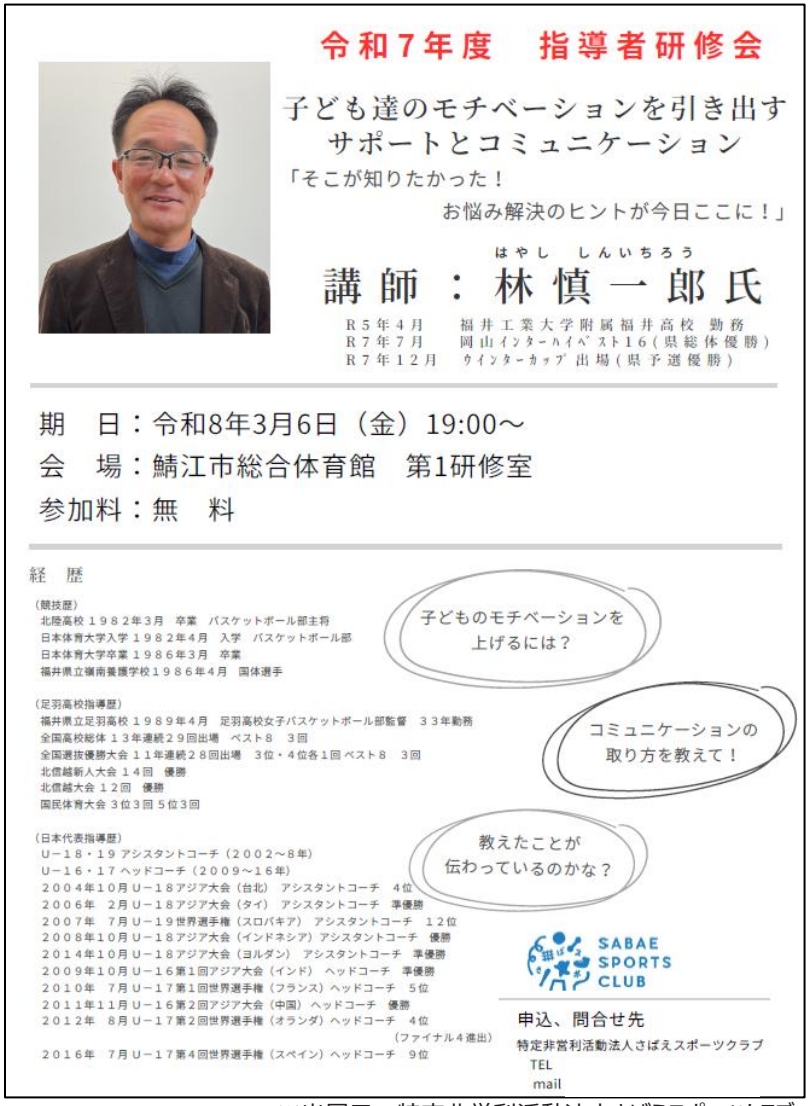
スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保




※出展元：鯖江市教育委員会




※出展元：特定非営利活動法人さばえスポーツクラブ

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

**指導者の資格取得促進に向けた取組**

「鯖江市運動・スポーツ推進計画」推進委員会において、令和7年度より公認資格取得、吹奏楽部活動指導員支援を決定。
上限2万円（文化8,000円とし、資格取得後に運営団体より申請）
対象
- 中学校地域クラブ活動指導者（運営団体である総合型地域スポーツクラブ）
  スタートコーチ、コーチⅠ、競技別資格、初級パラスポーツ指導員　等

・スポーツ少年団（スポーツ少年団事務局）
  スタートコーチ（ジュニア・ユース）
  ※ JSPO総合型地域スポーツクラブとスポーツ少年団登録統合を視野
- スポーツ推進委員協議会
  初級パラスポーツ指導員
  ※ スポーツ教室、地域クラブ活動等での、障がい者スポーツ、インクルーシブ活動を視野
- 吹奏楽指導者資格取得（全日本吹奏楽指導者協会等）
  ※ 合唱関連資格取得制度はない（県合唱連盟より）

地域クラブ活動

| | |
|---|---|
| 指導者総数 | 141人 |
| 資格所持指導者数 | 31人 |
| 本年度資格を取得した指導者 | 令和7年12月現在 0人 |

**平日・休日の一貫指導に関する取組**

鯖江市では、学校と地域活動の連携期間（令和3年～6年）、協働期間（令和6年～7年）、融合期間（令和8年～）を設置（令和4年鯖江市在り方方針）
令和8年度以降は地域が主体となる活動となり、地域や地域指導者が学校・顧問教員との連携をしていくことを想定
- 令和6年度鯖江市地域クラブ活動推進協議会　決定事項
  平日の地域展開活動は、総合的に判断し、様子を見ながら進めていく（持続性、指導者、生徒の生活環境、保護者送迎の負担、家庭負担）
  休日の地域クラブ活動が定着していくことを優先する（安心安全な活動、地域指導者の更なる発掘、市民全体への周知）

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

○ 令和8年度完全実施に向け、運営団体と指導者配置計画を再度検討し、不足する種目指導者をスポーツ協会（種目協会）に依頼
○ 鯖江市PTA連合会総会、学校PTA総会・入学説明会等において概要説明ならびに運営・指導者（サポート含む）での協力依頼
○ 事務局一本化に向け、指定管理受託のスポーツ協会に事務所の提供依頼
○「新しい価値の創出」に向け、公民館の各種講座や関係団体に対し、小中学生の受皿依頼
○ 企業（指導者派遣）、大学（指導者サポート）での協議を進めた

#### 取組の成果

○ 指導者サポートを申し出る保護者の参画
○ スポーツ協会からは、クラブの統合、指定管理の再々委託を受けるだけの力を持ち、持続可能な運営になるよう指導を受け、クラブ一本化の協議を進めることができた
○ 企業とは、雇用による指導者派遣（令和7年面接受けたが折り合いが合わず）

大学生の単位取得できる指導サポート
事業を次年度から実施（包括協定）
○ 公民館での中学生対象の料理教室
など開催するが、希望者なし
⇒小中学生対象に変更
小学校からの地域環境の見直し

#### 今後の取組における課題

○ 指導者依頼について
スポーツ協会（種目協会）からは、高齢化、市種目協会は大会運営が主たる業務であるので指導者派遣は難しいとの回答が多いが、今までの依頼等の経緯も含め、協会という名目ではなく、個人的に協力を得られることがあるので、継続して依頼していく予定である
○ 保護者の指導サポート協力は非常にありがたいが、持続可能ではないとの認識を運営団体は危惧している
○ 公民館や関係団体から小中学生の受け皿を承諾する団体は多くはない
○ 企業指導者派遣では、企業・クラブ・市で形はできたが、若者で指導者を目指す人材がなかなか見つからない
○ 大学からの指導者サポート派遣は、今後の大学生へのアプローチを大学とどのようにしていくかの議論が必要

#### 課題への対応方針

○ 指導者依頼を関係団体や保護者に、小中学生受け皿依頼を公民館・地域団体に継続して説明し、賛同者・協力者を増やしていく

# 2.実証内容と成果

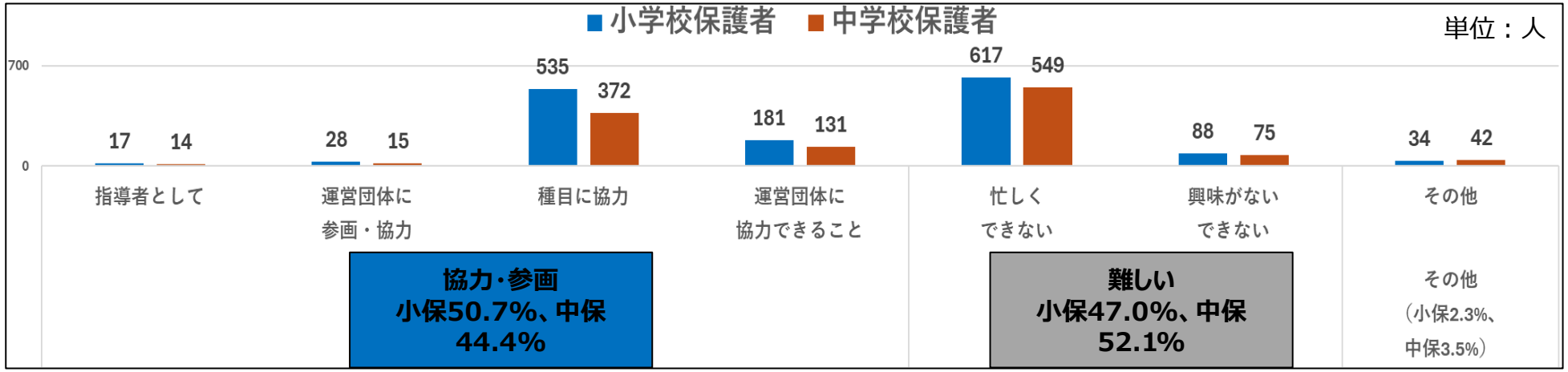
ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
**ウ：関係団体・分野との連携強化**
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化**

**令和5年鯖江市保護者（小中）アンケート結果**
**「休日の地域クラブ活動への協力」**



# 2.実証内容と成果

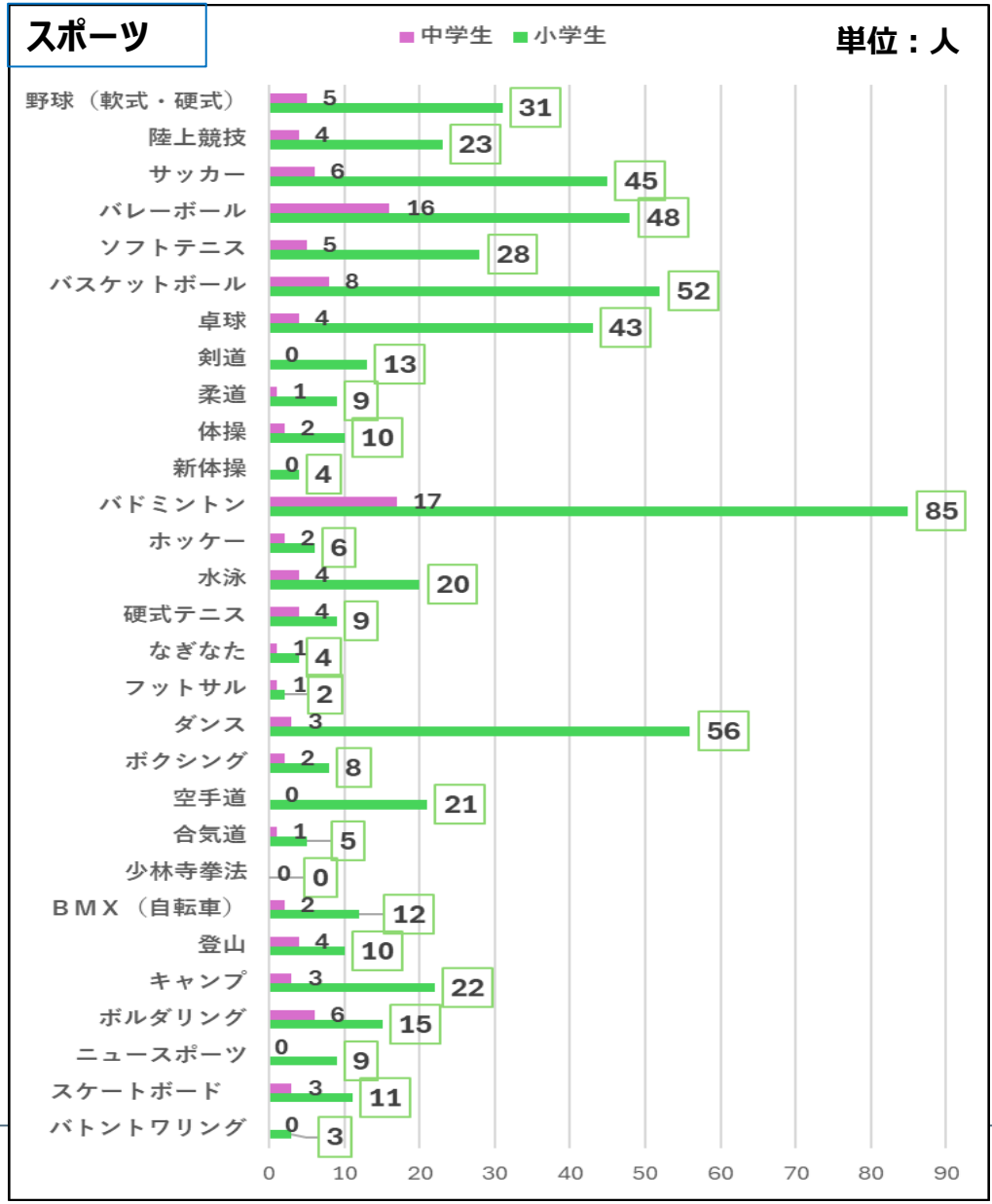
ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
**ウ：関係団体・分野との連携強化**
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化**

**令和6年鯖江市（小中学生）アンケート結果**
**「休日に自分のやりたいこと（平日とは異なること）は何ですか」**



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
**ウ：関係団体・分野との連携強化**
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

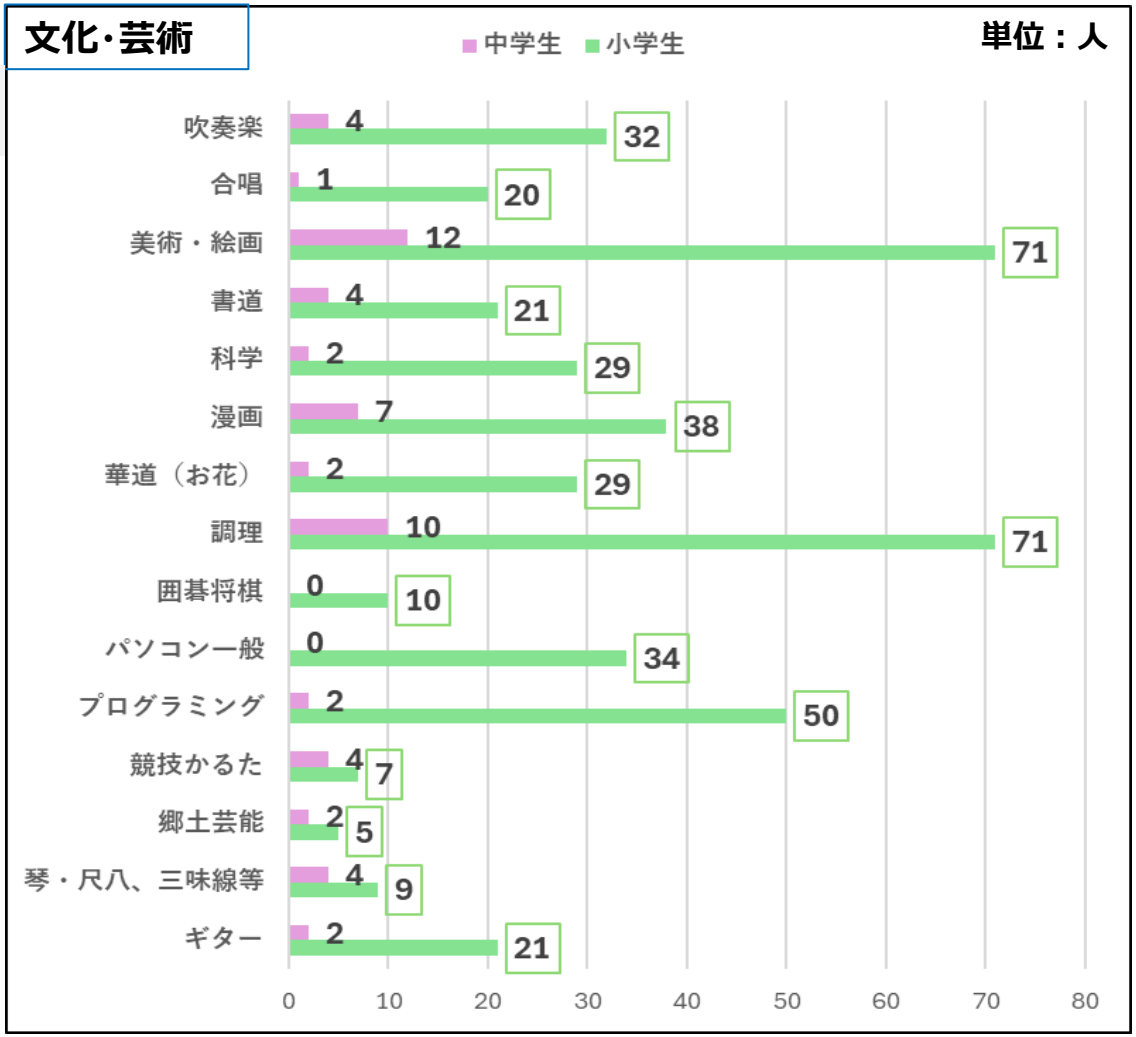
スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化**

**令和6年鯖江市（小中学生）アンケート結果**
**「休日に自分のやりたいこと（平日とは異なること）は何ですか」**

**文化・芸術**




令和7年公民館において、中学生対象の料理体験教室開催
⇒　希望者なし、小学生対象に変更

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

**地域公共交通との連携に関する取組**

鯖江市では、徒歩や自転車で活動できる地域クラブ活動を実践
地域公共交通との連携はしていない

**関係団体等との連携に関するスポーツ推進委員の取組**

スポーツ推進委員は授産施設でのスポーツ教室等を開催実績があり、公認指導者資格取得（初級パラスポーツ）、インクルーシブなスポーツ活動、発展して文化活動のコーディネートを説明・将来像を提示するが、反応は鈍い

**まちづくりと連携した取組**

○ 本市の地域クラブ活動基本方針は、「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる」意識のもと、スポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保すること。
○ 関係者から小学生からの習慣が必要であるとの意見を踏まえ、小中学生の受け皿となる地域団体を募集。
○「新たな価値の創出」にむけ、市内関係団体に地域クラブ活動の概要を説明。
○ 受け皿を希望・興味のある団体と最終調整し、ホームページ掲載ならびに小中学校から保護者に周知依頼。

○ 鯖江市NPOセンター所属する各種団体に説明し、受け皿団体を募集
・ボランティア活動
福井県動物愛護センター
保護動物の飼育管理
犬猫譲渡会(適正飼育講習含む)開催、啓発イベントの開催等
・調整中の団体
・その他加盟団体のイベントを紹介を協議中

○ 地域関連団体に説明会を実施し、受け皿団体を募集
・教室・サークル（公民館関連団体）
文化芸術関係（民謡、浄瑠璃、伝統文化（ゆかた等））
運動・スポーツ関係（体操、スポーツ等での世代間交流）
・教室（市施設）
吹奏楽クラブ

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
**ウ：関係団体・分野との連携強化**
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### 地域でのパラスポーツ活動拡充イメージ

鯖江市スポーツ推進委員協議会常任委員会　提示資料

**インクルーシブ　スポーツの推進**

**1．知る・探る・場をつくる**

地域に出向き、地域の実態を知り、活動場所をつくる

- ●必要な活動、生み出したい活動は何か
- ●将来の活動をイメージ
- ●活動に必要な地域の団体・人材を引き込む

**体験会・イベント**

**2．地域でつながる**

活動が継続できる形を作る

- ●地域が主体（やりたいことを生む）
- ●つながる（連携）
- ●育てる（指導者・参加者・支援者）
- ●活動のニーズを生み出す

**スポーツ教室**

**3．定着する**

地域での活動定着

- ●新たな活動へつながる

**クラブ・サークル 地域活動への参加**

**推進委員**

資格取得、計画、コーディネート
- ・初級パラスポーツ指導者資格取得
- ・計画作成（年次計画）
- ・障がい者施設担当者、関係者と協議準備、場所、活動での配慮等協力者（支援者）関連等

広報・実践・PDCA・コーディネート
- ・広報（活動、参加者・支援者募集）
- ・体験会、出前講座、教室開催
- ・PDCA
- ・協力者（支援者等）育成
- ・受け皿発掘

コーディネート
地域での持続可能な活動に向けて
- ・受け皿へのバトンタッチ
- ・受け皿への協力

**健常者と障がい者の交流の場**
**スポーツを通じたインクルーシブ活動**

（参考資料）みんなのスポーツ【パラスポーツ共生社会】日本パラスポーツ協会　佐藤雄太氏

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
**エ：面的・広域的な取組**
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

#### 取組事項

○ 中学校区の総合型地域スポーツクラブは、地域クラブ活動では、会員となった中学生が市内のどこのクラブにも参加できるよう、同一の保険に加入
○ 運営団体である総合型地域スポーツクラブは、理念に賛同すれば、市外中学生の受け入れも可としており、他市町中学生も入会し活動している
○ 鯖江市としても、運営団体の意向を優先している

#### 課題への対応方針

○ 他市町との連携は、県が主体となり進める体制が必要
○ 現在の鯖江市の取組
市内中学生には現状のまま実施していけばよいとの考え
鯖江市では実施しているが、近隣町では活動していない種目に関しては、柔軟な考え方が必要（鯖江市協議会決定）

※次項に拡大図有

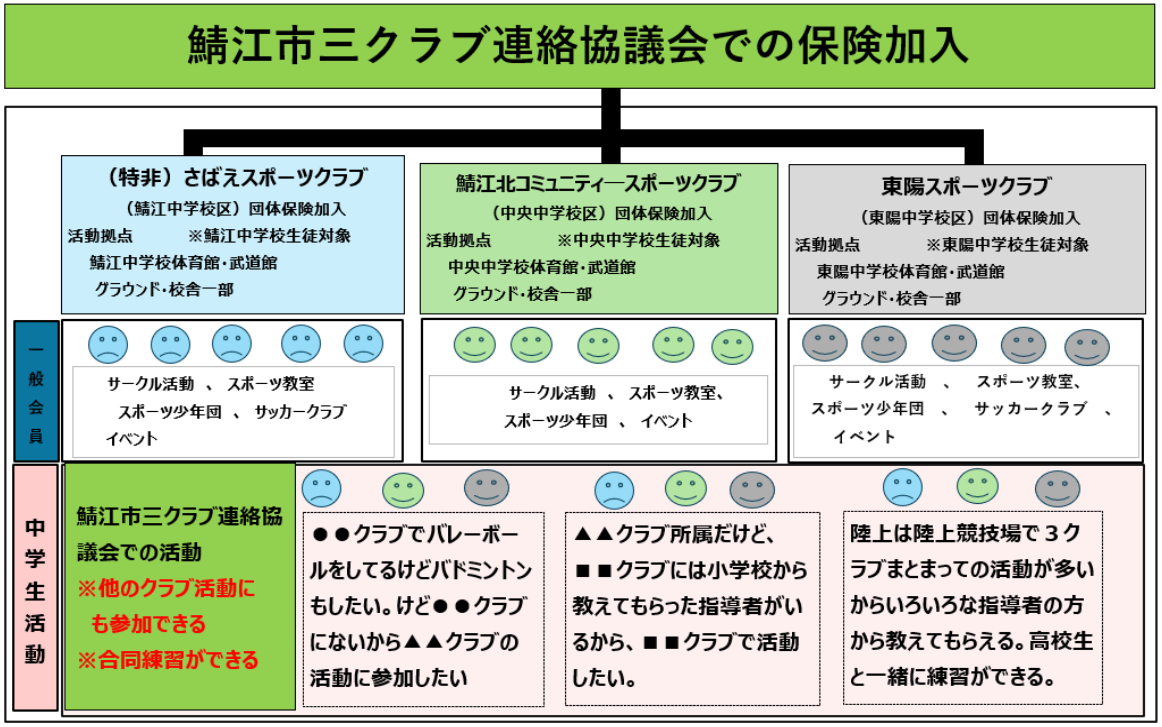
#### 取組の成果

○ 鯖江市内中学生（右図）
- 市内スポーツ施設を三クラブ合同で活動できるようになった
- 所属するクラブにない種目に参加できるようになった
- 教えてほしい指導者の所にいけるようになった

○ 鯖江市外中学生
- 自分のやりたい種目に参加

#### 今後の取組における課題

○ 合同練習では、拠点施設で小中高校生の指導者が一体となり指導できる環境が整いつつある（陸上）
○ 鯖江市外の中学生の活動に対して、他市町との協議はしていない。
○ 行政支援が行われている活動であり、他市町中学生の参加を認めてよいのかとの意見が出始めている
ただ、鯖江市内の中学生も他市町地域クラブ活動に参加しており、他市町でも同様の事案が出ていることを伝えている



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
**エ：面的・広域的な取組**
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 鯖江市三クラブ連絡協議会での保険加入

| | （特非）さばえスポーツクラブ | 鯖江北コミュニティースポーツクラブ | 東陽スポーツクラブ |
|---|---|---|---|
| | （鯖江中学校区）団体保険加入<br>活動拠点　※鯖江中学校生徒対象<br>鯖江中学校体育館・武道館<br>グラウンド・校舎一部 | （中央中学校区）団体保険加入<br>活動拠点　※中央中学校生徒対象<br>中央中学校体育館・武道館<br>グラウンド・校舎一部 | （東陽中学校区）団体保険加入<br>活動拠点　※東陽中学校生徒対象<br>東陽中学校体育館・武道館<br>グラウンド・校舎一部 |
| 一般会員 | サークル活動 、 スポーツ教室<br>スポーツ少年団 、 サッカークラブ<br>イベント | サークル活動 、 スポーツ教室、<br>スポーツ少年団 、 イベント | サークル活動 、 スポーツ教室、<br>スポーツ少年団 、 サッカークラブ 、<br>イベント |
| 中学生活動 | 鯖江市三クラブ連絡協議会での活動<br>※他のクラブ活動にも参加できる<br>※合同練習ができる | ●●クラブでバレーボールをしてるけどバドミントンもしたい。けど●●クラブにないから▲▲クラブの活動に参加したい | ▲▲クラブ所属だけど、■■クラブには小学校から教えてもらった指導者がいるから、■■クラブで活動したい。 | 陸上は陸上競技場で３クラブまとまっての活動が多いからいろいろな指導者の方から教えてもらえる。高校生と一緒に練習ができる。 |

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
**オ：内容の充実**
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　オ：内容の充実**

### 取組事項

○ 鯖江北コミュニティースポーツクラブ
- BMX、パルクール体験イベント開催
  募集は小中学生

○ 東陽スポーツクラブ
- イベント開催 「ウォーターフェス」
- 東陽中学校区の公民館と協力し、中学生が企画したイベントを開催

### 取組の成果

○ BMX、パルクール体験会
市内小中学生保護者に案内し、運営団体の活動をアピールできた
総数100名市内外小学生が参加（市内10名）、今後継続開催も含め協議

○ ウォーターフェス
中学生企画を運営団体と公民館で実施することができ、両者の関係が深まった
地域の人や保護者からの協力・支援が多く集まった

### 今後の取組における課題

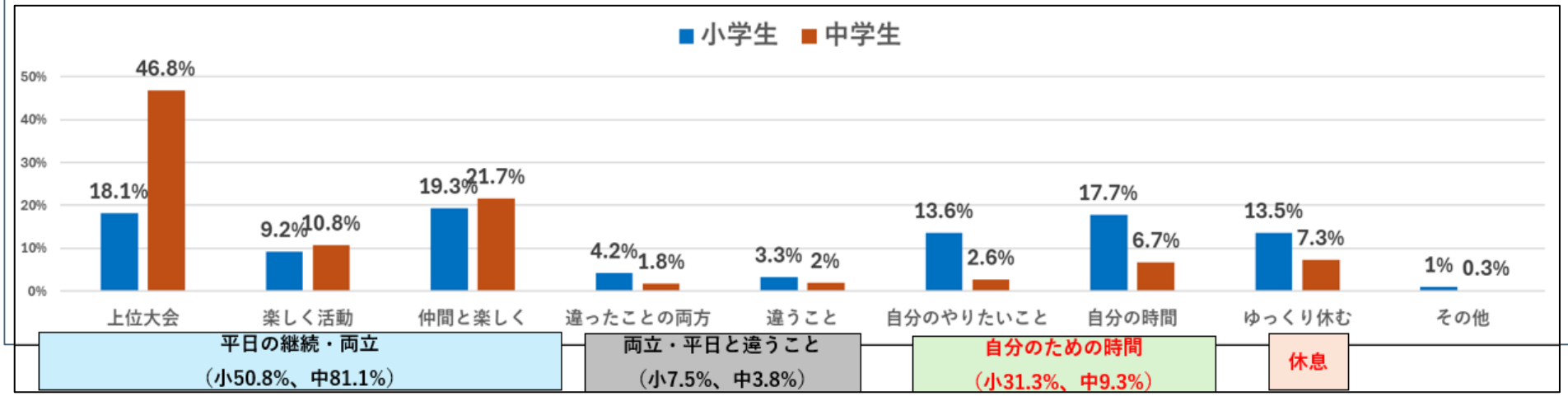
- 中学生が様々な活動やイベントに参加する手段・方法・定着

### 課題への対応方針

○ アンケート結果では、中学生は平日の活動の継続を希望することが多く、平日の活動を絡めたイベント開催を模索

○ 小学校時の様々な体験を通して、中学生活動となることを想定し、新たなイベントを継続することにより、中学生の生活が徐々に変化していくと捉えていた長期ビジョンが必要

**令和6年鯖江市（小中学生）アンケート結果　「休日の過ごし方」**



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
**オ：内容の充実**
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

○ BMX、パルクール体験会の様子







○ ウォーターフェスの様子






# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

○ 生活困窮者への支援
- 鯖江市では、総合型地域スポーツクラブ設立時より、生活困窮家庭への支援の議論をしていた。ただ、個人情報の取扱、困窮家庭の線引き、事務手続き等のハードルが高く見送った経緯があり、現在に至る
- 令和5年度より、休日は地域クラブ活動への参加を促したことから、教育委員会において、生活困窮家庭を準要保護家庭として支援

○ 事務連携
- 教育委員会：準要保護家庭調査、該当家庭決定
- 学　校　　：家庭状況調査（年収、兄弟、家庭環境等）
- 運営団体（SC）：登録生徒一覧を学校に提出

#### 取組の成果

○ 学校部活動の地域展開の影響で生活困窮家庭の子どもが地域クラブ活動に参加できないことを防ぎ、行政・地域・学校で支えていく体制を構築することができた
○ 学校からの支給となり、個人情報が守られ、感謝の意を述べる保護者が出てきた

#### 今後の取組における課題

○ 令和8年度より新会費での活動となる。困窮家庭への支援額を協議会にて決定
令和5年～　準要保護家庭支援　22,000円
令和8年～　準要保護家庭支援　24,800円（上限）※認定クラブ所属

#### 課題への対応方針

○ 令和8年より本格実施するにあたり、新しい会費での実践
○ 困窮家庭への支給額・支援は会費・保険料に合わせる（協議会決定事項）

### 準要保護家庭支援

※次項に拡大図有

準要保護生徒援助費について（中学校）

| 区　分 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|
| 学校給食費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| 修学旅行費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| | 市単独予算 | 7,000 | → | → |
| 校外活動費 | 宿泊なし | 2,310 | → | → |
| | 宿泊あり | 6,210 | → | → |
| 学用品購入費 | | 22,730 | → | → |
| 新入学学用品等費 | 1年生 | 60,000 | → | 63,000 |
| 通学用品費 | 1年生除く | 2,270 | → | → |
| PTA会費 | | 4,260 | → | → |
| 自転車保険加入費 | | | 1,500 | → |
| 医療費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| 通学費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| 地域スポーツクラブ加入費 | | | | 22,000 |

**認定クラブ所属**
**令和8年～24,800円**

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### 準要保護家庭支援

**準要保護生徒援助費について（中学校）**

| 区　　分 | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|
| 学校給食費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| 修学旅行費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| | 市単独予算 | 7,000 | → | → |
| 校外活動費 | 宿泊なし | 2,310 | → | → |
| | 宿泊あり | 6,210 | → | → |
| 学用品購入費 | | 22,730 | → | → |
| 新入学学用品等費 | 1年生 | 60,000 | → | 63,000 |
| 通学用品費 | 1年生除く | 2,270 | → | → |
| PTA会費 | | 4,260 | → | → |
| 自転車保険加入費 | | | 1,500 | → |
| 医療費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| 通学費 | | 実費（学校報告に基づく） | → | → |
| 地域スポーツクラブ加入費 | | | | 22,000 |

**認定クラブ所属**
**令和8年～24,800円**

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等**

**取組事項**

○ 鯖江市PTA連合会総会にて説明
・大会・コンクール出場に対する支援を継続　・文化部備品購入支援（楽器購入）を継続　・PTA会費（部活動関連）見直しを学校長に依頼

**令和7年鯖江市PTA連合会総会説明資料**　※次項に拡大図有




**令和8年度～休日の学校部活動は**
**地域クラブ活動完全実施となります**

地域クラブ活動⇒休日の活動は、子どもたちの選択、保護者の責任増
鯖江市地域クラブ推進協議会(大学・PTA・学校・ｽﾎﾟｰﾂ・文化関係者)
・中学校区にある総合型地域スポーツクラブが運営主体
・休日の中学校施設を中心に活動　⇒　子どもが主役
※徒歩や自転車で気軽に安心して活動できる環境

**併存期間(Ｒ５～７年度：学校と地域が連携・協働する準備期間)**
・会員からの会費と行政支援（国・県・市）で運営
・指導者：地域から発掘、休日も継続してやりたい先生
・指導者へは謝金
・地区公民館にある既存団体に、子どもたちとの活動を依頼

**完全実施（Ｒ８～：地域が主体で取り組み学校と連携する）**
・新会費での実施、三クラブの再編(市民に認められる組織)
(学識経験者・市教委・三クラブ・学校の委員で協議中)
・子どもたちの様々な志向に対応できる環境の整備
・様々な交流の場を発掘（地域・市内・公民館、同世代・異世代）

市教委　・・・中体連大会(県・ブロック・全国)支援を継続
コンクール(北陸・全国)、文化部備品購入支援を継続
各中学校・・・ＰＴＡ会費の見直し
※休日の協会主催大会・練習試合等バス経費

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

**令和7年鯖江市PTA連合会総会説明資料**



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

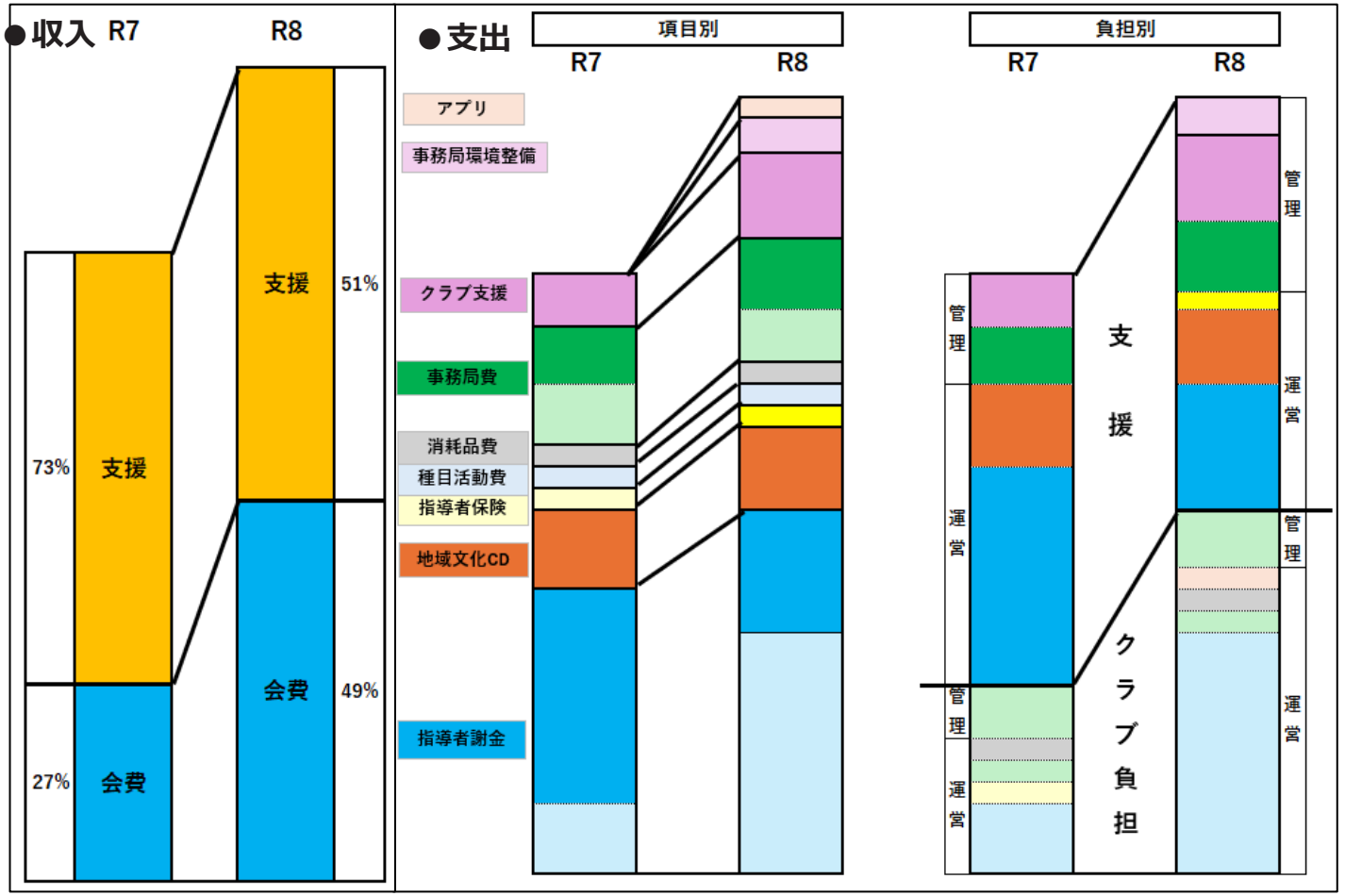
**●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等**　　収支バランス

収支を試算すると、三クラブの事務局を一本化することにより、運営団体経費割合が大きい
鯖江市では、クラブ組織再編委員会を開催し、令和8年以降の会費ならびに持続可能な運営体制の構築を目指し、三クラブの統合に向けた協議を始めた
運営団体自立に向け、市スポーツ協会から、指定管理を受けている施設での事務局一本化、クラブ統合後の指定管理再委託構想を提案される

**クラブ再編組織委員会**

| | |
|---|---|
| 学識経験者 | 大学教授 |
| | 総括CD |
| 中学校 | 校長会代表 |
| スポーツクラブ | 会長・理事長 |
| | 役　　員 |
| | 地域CD |
| 鯖江市教育委員会 | 部　　長 |

**会費**
**～令和7年　会費　(年)　6,000円**
**令和8年～　　(年) 24,000円**
**運営費　　(年)　6,000円**
**指導者謝金（月）　1,500円**



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

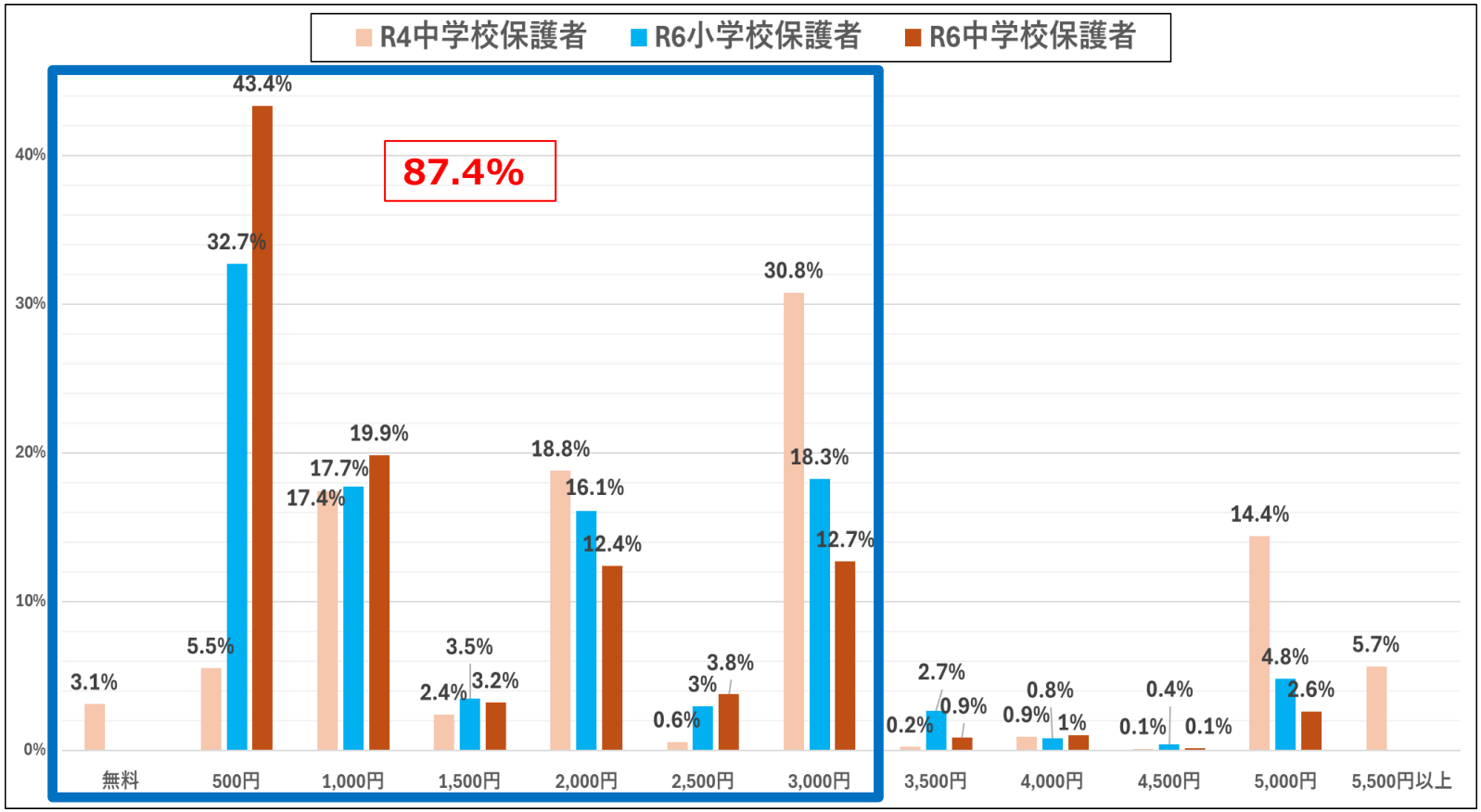
## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

**持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算**

クラブ組織再編委員会で、クラブ運営と保護者アンケート結果、（国）調査研究協力者会議の進捗状況、結果をもとに決定

**令和4年・6年鯖江市　小中保護者アンケート結果　　月会費の金額**



# 2.実証内容と成果

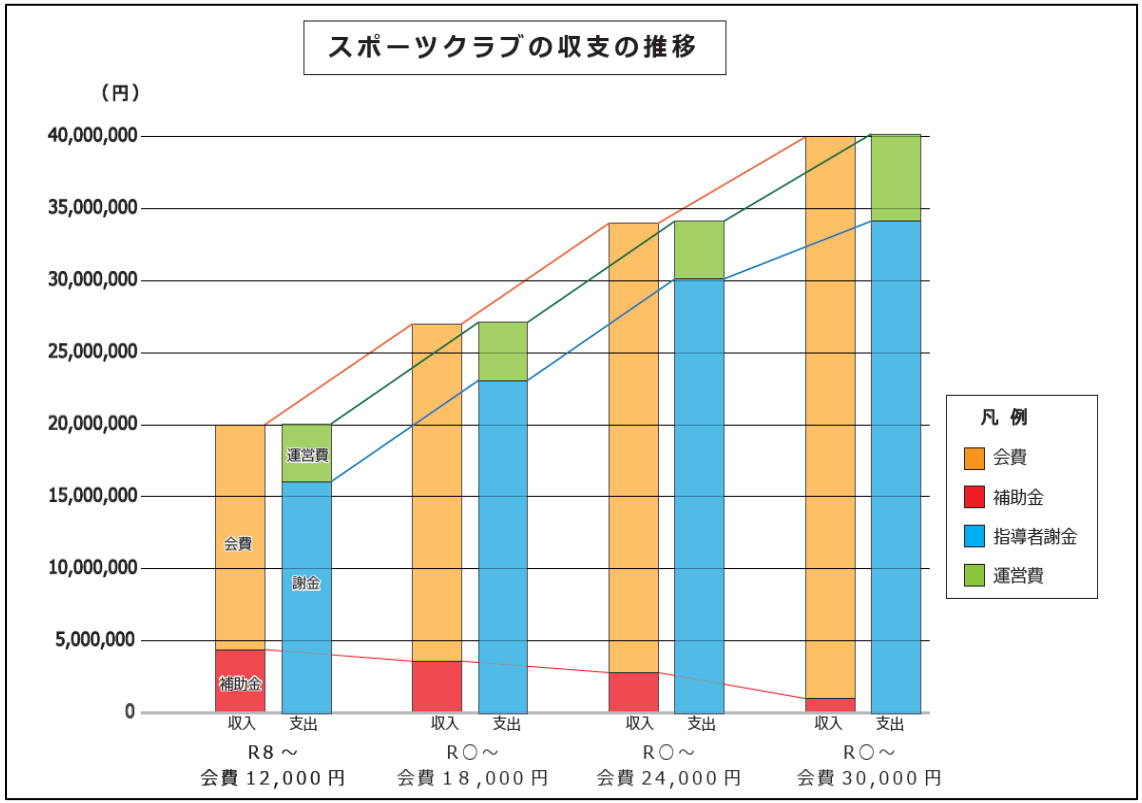
ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

**令和7年鯖江市クラブ組織再編委員会　会費関連資料**




クラブ再編委員会で令和8年度会費は、
当初、年会費18,000円で決定　⇒　最低賃金上昇・他市町との整合性による指導者謝金値上げ（1h 1,200円⇒1,600円）、事務局一本化（将来は統合）
（国）調査研究協力者会議の動向を踏まえ、クラブ再編委員会を経て、協議会にて、運営費（年）6,000円、指導者謝金（月）1,500円　年24,000円で決定

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
**キ：学校施設の活用等**
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　キ：学校施設の活用等

#### 取組事項

○ 地域クラブ活動方針（令和4年）
- 運営団体を中学校区の総合型地域スポーツクラブ、活動場所は、中学生が徒歩や自転車で通えるよう、市内各中学校施設、市内スポーツ施設としている

○「鯖江市運動・スポーツ推進計画」推進委員会（令和6年）
- 学校管理規則、学校開放規則の見直し⇒庁内連携により可能（規則見直し無）
- 市スポーツ施設を土曜日午前中は地域クラブ活動独占使用（陸上小中高校生）

○ 学校施設にスマートロックを設置し、中学校区の総合型地域スポーツクラブに休日と夜の施設運用・管理を依頼
○ 校舎を利用する文化活動（吹奏楽・合唱）、スポーツ関連種目の更衣室、外競技の雨天時の避難等の場所の提供を目的に校舎内シャッターを設置

#### 取組の成果

○ 休日の中学校施設は地域クラブ優先での利用が可能となった
○ 休日に小中高校生が指導者の下、練習することができるようになった
○ スマートロックの採用で、管理者、利用者の手間が大きく削減できた
○ 校舎内シャッター設置により、校舎内の利用区分が設けられ、指導計画が立てやすくなった（吹奏楽指導者）

#### 今後の取組における課題

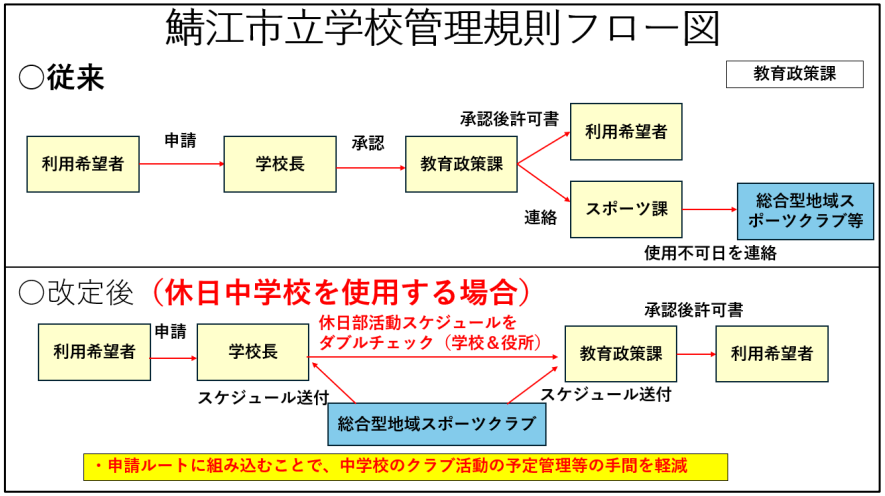
校舎内シャッターでは、学校側で金曜日のシャッター・教室施錠、月曜日のシャッター・教室開錠等の手間が増え、機能的な取組を学校が行う必要

#### 課題への対応方針

スマートロック、校舎内シャッター使用は、令和8年度に完全実施とし、学校と調整している
今年度中に、学校側の機能的な対応を依頼中

参考資料

鯖江市運動・スポーツ推進計画　推進委員会資料　※次項に拡大図有




陸上競技場
土曜日は、市内外高校生・大学・一般が利用し、小中学生にとって危険な状況⇒土曜日午前中は市内総合型地域スポーツクラブの活動で独占
市内高校も賛同し参加、小中高校生での交流
陸上を継続する子供が増えることに期待

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
**キ：学校施設の活用等**
ク：その他の取組

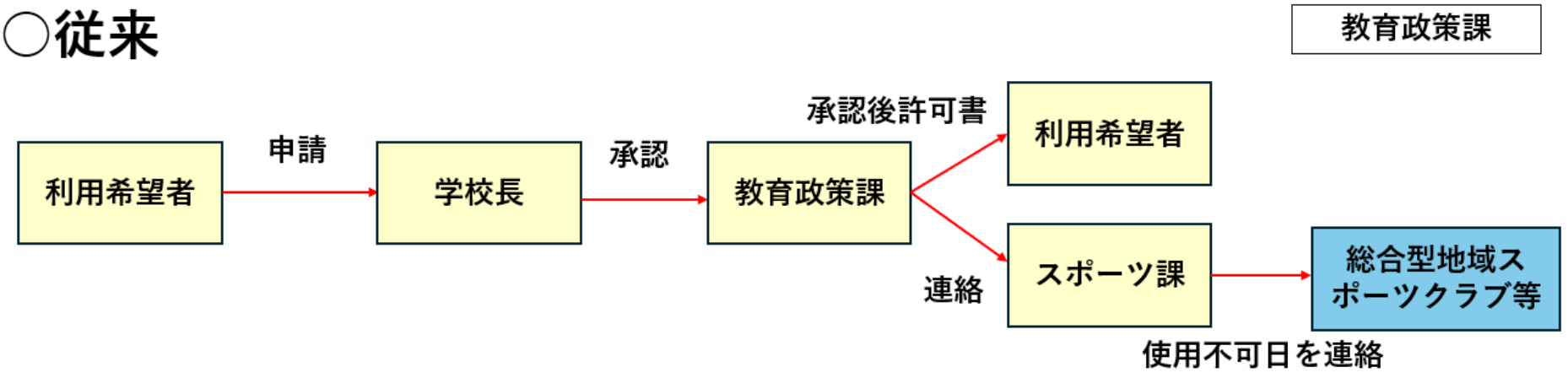
スポーツ庁

## 取組内容

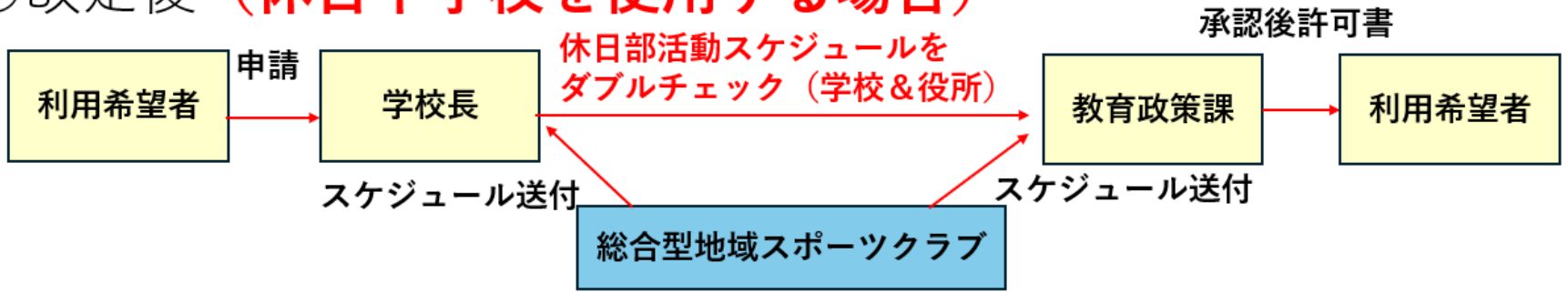
鯖江市運動・スポーツ推進計画　推進委員会資料

### 鯖江市立学校管理規則フロー図

○従来




○改定後（休日中学校を使用する場合）




・申請ルートに組み込むことで、中学校のクラブ活動の予定管理等の手間を軽減

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　キ：学校施設の活用等**

**学校施設利用上の負担軽減に向けた取組**

○ スマートロックの導入（令和6年度スポーツ庁報告書掲載）、校舎内シャッター設置（令和6年度文化庁報告書掲載）、利用者・管理者にとって利便性のある活用
・予約者に番号配布、予約者（責任者）以外は使用できない　・キーボックス等による鍵の受け渡し　・ICT活用による日誌作成・提出

**用具使用・管理等における取組**

○ 運営団体（中学校区総合型地域スポーツクラブ）発足時、中学校施設を拠点とし活動
- 夜間学校施設（体育館・武道館）利用
- 夜間照明施設、用具保管の外倉庫の利用

○ 用具使用
- 鯖江市教育委員会・学校・運営団体（中学校区総合型地域スポーツクラブ）の三者による協定により、学校備品等の活用による破損時の責任を明確にして活動を実施（令和6年度協議会にて決議）
- 運営団体である中学校区の総合型地域スポーツクラブは、物損時に補償できる団体保険加入（賠償責任補償含む）

※破損には経年劣化が原因も予想されるため、教育委員会が間に入ることを追記

○用具保管
- 体育館内の用具に関しては、学校側・クラブ側で使用してほしくない物品に関しては原則施錠

**令和6年協議会決定事項**

**「学校備品・物品等の使用」について**
**三者による申し合わせ事項の締結**

**締結概要：中学校体育館・武道館・校舎（学校施設開放）の使用および物品使用**
**三　　者：教育委員会、各学校、各スポーツクラブ**
**内　　容：**
**【学校施設】**
**休日・平日夜の使用に関しては責任をスポーツクラブが負う**
**【物品等の使用】**
**スポーツクラブは、教育委員会、学校が所有する備品・物品等を使用できる**
**学校は、スポーツクラブが所有する物品を使用できる**
**破損等の場合、使用責任者が責任を負う**

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

**●取組項目名　ク：その他の取組**

### 取組事項

○ 平日の地域クラブ活動　・令和6年度末協議会
○ 企業・大学と指導者派遣について

### 取組の成果

○ 企業：指導者雇用による派遣ができる体制を構築
　平日の指導者派遣も可
　運営団体が推薦する指導者を企業が面接
　職場見学・面接を受けたが、現職場との比較により断念
　⇒ 運営団体は該当者を模索
○ 大学生の単位取得ができる指導者サポート派遣、市と大学での包括協定をもとに令和8年から活動

### 今後の取組における課題

○ 平日活動について
- 活動

夕方以降の活動となり、中学生の生活習慣に課題
- 指導者

課題が多く、人材不足であることから、企業からの人材派遣を中心に取組むこととする
- 負担

保護者の経費・送迎負担

### 課題への対応方針

○ 休日活動を定着させ、平日活動について試しの活動等、モデル的な活動ならびに関係者との協議を進める等、段階を持っての取組

**令和6年協議会決定事項**

**令和7年度は休日の活動　→　最終年度**

**指　導　者：地域指導者の発掘 、 周　知 ： 市民全体への周知**

**平日の地域展開　→　様子を見ながら進める**
**休日の活動を定着することを優先**

**持　続　性：持続可能な活動となる根拠が乏しい　（指導者・送迎・こどもへの影響・家庭負担等）**
**指　導　者：平日の平時に指導できる指導者が鯖江市にどのくらいいるのか**
**送　　迎：子どもの送迎が可能な家庭はどのくらいいるのか**
**鯖江市は共働きの家庭が多く、夕方から夜の活動に子どもの送迎ができるのか**
**生徒影響：中学生の生活習慣、子どもの健全育成への影響**
**取り組む中学生の減少（現在：スポ少加入児童の減少）**
**平日の平時に活動することは難しいため、夕方から夜に活動することによる影響はないのか**
**家庭負担：保護者負担が増える可能性大**
**休日活動で指導者謝金制度を整えるにあたり、平日にも適用した場合の保護者負担**

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

**●取組項目名　ク：その他の取組**　※計画書記載の休日の小中高校生の活動は、エ：面的・広域的な取組に記載

### 取組事項

○ クラブ組織再編委員会
- 地域クラブ活動の事務効率化協議
  ⇒ 三クラブ事務局の統合（令和8年～）
- 会員主体（まちづくり）、持続可能な運営（管理費負担の軽減）を協議
  ⇒ 三クラブの統合に合意（協議の継続）
  市全体の動きにしていく
  子どもから高齢者・障がい者対象
  賛助金の獲得
  体育館指定管理を受託できる基盤強化

### 取組の成果

- 3クラブ設立から約20年が経つ中で、同じテーブルに立って組織再編の協議をすることができ、それぞれの取組を尊重しながら、合意に持ち込むことができた
- 中学校部活動の地域展開を機会に、生涯スポーツ関連の協議も同時にすることができるようになった

### 今後の取組における課題

○ クラブ統合
- 各クラブは総論賛成を得たが、各論では様々な意見が出てきており、調整等を市の関係課が多く関わる必要がある
- クラブ統合のリーダーシップが取れる人材が必要
- 統合に向けた計画作成

### 課題への対応方針

【鯖江市】
- 鯖江市の生涯学習・スポーツ推進にとって、非常に大きな変革の一つと捉え、計画・予算・庁内連携等を今後進めていく
- 担当職員のみの取組から、担当課職員で役割分担をして推進を図る
- 「鯖江市運動・スポーツ推進計画」の見直しがあり、子どもから高齢者・障がい者まで幅広い取組が推進できる体制づくりを進める
- 新たな価値の創出に向け、様々な団体が子どもから高齢者が活動できる場を共有できる環境を整備

【運営団体（中学校区総合型地域スポーツクラブ】
- 効率的な運営ができるよう、運営団体である、三つの総合型地域スポーツクラブの事務局を一本化する（さばえジュニアクラブ）
- 三つの総合型地域スポーツクラブが、本市全体のスポーツによるまちづくりができるよう、三クラブ統合に向け、具体の協議を実施
- 指導者研修の充実・登録
- アプリ等を活用した、会員への情報発信や状況の掌握

【実施主体】
- ガイドラインに沿った活動となるよう指導・助言

【地域団体】
- 地域クラブ活動を基本とした、世代交流など新たな価値の創出に向け、理解を深め協力できる団体を増やせるよう周知・説明

# 2.実証内容と成果①

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ●総括

ア）運営団体の整備

○ クラブ再編

鯖江市にある中学校区の総合型地域スポーツクラブでは、それぞれの活動には意義はあるものの、運営・マネジメントにはそれぞれ懸念があり、連携・統合の話がなかなかできなかった。中学校部活動の地域展開を機会に「クラブ再編組織再編委員会」を立ち上げ、協議する場も多くなり、持続可能な運営をすることが協議され、令和8年より将来の統合に向け、事務局の一本化、統合に向け話を進めることとなった。今後、鯖江市全体で中学校部活動の地域展開、生涯スポーツの推進、企業協賛等を募ることができ、運営基盤の安定化を図ることができる。

○ 組織、関係者の団結

協議会、検討会（運営団体・学校）、コーディネーター会、中学校長会、（学校）地域クラブ担当者会等地域クラブ関係者の会議を単独または合同で開催し、地域と学校が情報共有できる場を多く持ち、連携できるよう心掛けた。議論時の様々な意見により、進まなくなることもあったが、中学生が違和感なく参加し、満足できる活動の基本路線に戻ることにより、協議内容を進めることができた。

○ 保険の加入（個人：スポーツ安全保険、団体：保険）

ケガ等だけでなく、個人賠償責任対応のため、個人のスポーツ安全保険加入を義務化

運営団体には団体としての責任、ケガ、団体賠償責任、物品等破損への保障等への対応のため団体保険に加入

なお、物品等借用に関しては、鯖江市・学校・運営団体で協定書を締結し、学校備品、クラブ備品を両方が使用できる体制を構築した。

イ）指導者の質の保障と量の確保

○ 指導者派遣、サポート

関係団体には指導者発掘や派遣依頼等は常にしていたが、人材確保がなかなかできなかった。企業から、指導者派遣の協力についての話があり、運営団体と連携の下、話を進めることができ、企業面接を受ける若者が出てきた。

大学との協議で、指導者派遣は難しいとの話であったが、指導者をサポートすることならできるのではないかとの話となり、次年度よりサポート事業を立ち上げることができた。教育関連大学では、サポート事業で単位取得も可能かどうかを協議していただけることとなり、将来の指導者候補を発掘できる機会ができるのではないかと期待している。

ウ）関係団体との連携、オ）内容の充実

○ 新たな価値の創出

例年、地区体育大会での中学生企画・運営協力等を実施しているため、中学生参加に地域は前向きである。

今年度、公民館において、中学生企画によるイベントは様々な協力もあり多くの小学生が参加して実施することができた。ただ、中学生のニーズ調査で多かった料理教室で募集したが中学生希望者はなく、小学生に変更する等の対応をした。

アーバンスポーツ（パルクール・BMX）体験活動を実施し、総計100名ほどの参加があった。鯖江市内小中学生保護者全員に案内はしたが、小学生10名程度の参加であった。開催するにあたり、市内参加状況により定期開催も視野に入れていたが、人数が少なかったこと、市内参加者も興味を示す方がほとんどなかったことから、今後の開催は様子を見て取組むこととなった。

# 2.実証内容と成果②

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括　イ）指導者の確保　ウ）関係団体との連携

**企業との連携（令和7年鯖江市協議会説明資料）**

## 水ingグループとの連携（協議終了、該当者模索中）

○水ingAM（鯖江市から委託を受けている全国規模の会社）

・地域の優秀な人材確保、若者就職希望者の確保、地域貢献（鯖江市）

⇒ **指導者を正社員雇用**として受入れ

雇用形態

指導時間も勤務とみなす（派遣勤務）

平日　午前は、水ingAMで勤務

午後は、社員による地域展開での指導（水ingからクラブへ派遣）

休日　地域展開での指導（月曜日振替休など）

・**（国）総合的なガイドライン（民間企業として参画）**

雇用形態について検討を進めている。 鯖江市と水ing、互いにメリットがある。

○鯖江市

・スポーツクラブから推薦　⇒　面接　⇒　現在、悩んでいる

・実現したなら三者（市・クラブ・水ing）協定を締結予定

# 2.実証内容と成果③

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

●**総括**　イ）指導者の確保　ウ）関係団体との連携

令和8年より実践予定

**大学との連携（令和7年鯖江市協議会説明資料）**

### 大学生指導者サポート（鯖江市と大学　包括的連携協定）

- 以前より、福井大学に指導者として学生に関わって貰えないか要請（鯖江市）
- 大学側から、学生が指導するにあたり、諸問題等の対応に懸念
- 鯖江市から提案

  指導者がいるところにサポートで入ることは？

  ⇒　それなら可能

  ⇒　鯖江市と福井大学との包括連携協定を活用

  - 鯖江市は若手指導者の創出や指導者不足の解消にメリット
  - 学生はカリキュラムの一貫として子どもたちと関わることができるメリット
- **R8募集開始予定で具体内容を協議**

  **（国）総合的なガイドライン（大学）**



# 2.実証内容と成果④

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ●総括

エ）面的・広域的な取組

○ 鯖江市内

鯖江市にある中学校区の総合型地域スポーツクラブは、スポーツ安全保険を統一し、それぞれの活動だけでなく、合同練習にも対応できるようにした。

陸上では、陸上競技場を小中学生だけでなく、地元高校陸上部が一緒に活動できるようにし、時々ではあるが教え合い等の活動が出てくるようになった。

他の種目においては、平日とは違う他クラブ種目へのチャレンジ、他クラブ指導者の指導を受ける等様々な動きが出てくるようになった。

今後、文化関係にも様々な動きが出てくるよう準備していく予定である。

カ）参加費用負担の支援等

○ 新会費決定

クラブ組織再編委員会で鯖江市、学識経験者、中学校、クラブとそれぞれの意見を交え、令和8年からの会費を決めることができた。この委員会では、行政支援、会費運営、保護者負担等の様々な角度から協議することができ、持続可能な将来を見通した協議をそれぞれが担う立場で議論することができた。

キ）学校施設の活用等

○ スマートロック、校舎内シャッター設置（令和6年スポーツ庁・文化庁報告書）

・学校管理規則の見直しに着手し、規則改正ではなく、庁内での関係課対応で進めることとなり、休日の中学校施設は、運営団体が中心となり活動できる体制整備ができた。

### ●成果の評価

ア）運営団体の整備

クラブ統合の協議は、令和8年から本格的に始まる。鯖江市は、前向きな協議ができるよう、サポートする予定。

イ）指導者派遣、サポート

企業連携での活動が始まるときに、鯖江市・運営団体・（企業・大学）と三者協定を締結し、本格的に取組む予定。

ウ）関係団体との連携、オ）内容の充実

公民館で様々な取組を実施することができ、希望者なし等の事案も出て、今後の取組について協議することができた。その中で、中学生の休日の生活変化を急激に求めるものではなく、小学校から進めることが大切だとの意見もあり、令和8年は小中学生の募集に切り替え、長い目で見た地域展開を試みることとなった。

エ）面的・広域的な取組

市内参加の幅を広げることにより、様々な活動が可能となった。

カ）参加費用負担の支援等

組織的な会議運営により、令和8年からの会費についての周知活動が様々な場面で行われるようになった。

### ●今後に向けて

市民は、急激な変化や新たな活動に対し不安であったり、興味がないように感じる。「まちづくり」を進めるには、活動が他人事のように進めるのではなく、様々な方々との合意形成や参画が必要であり、徐々に周知を兼ねた活動を進めることを念頭に取組む予定である。

# 2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

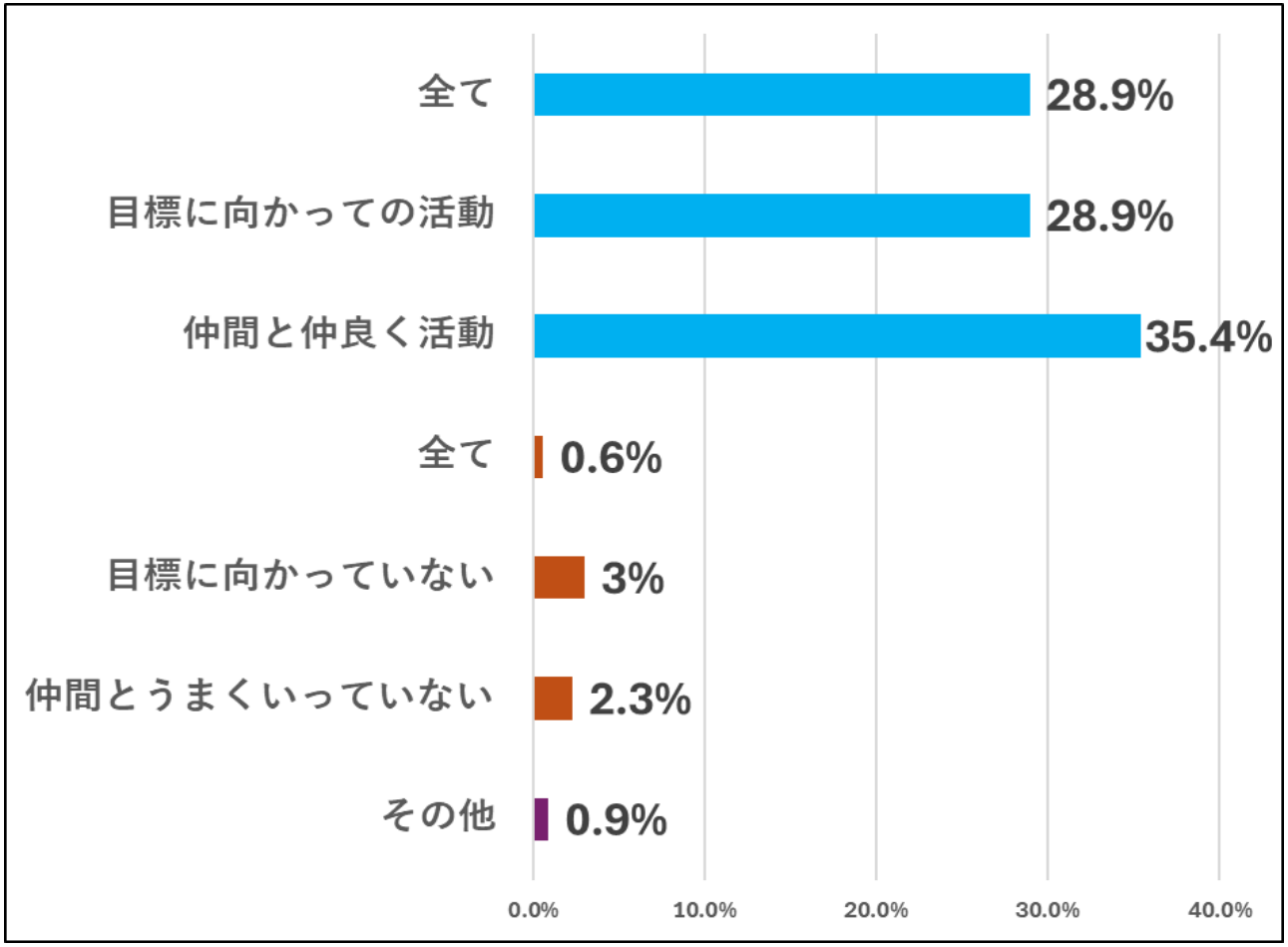
## アンケート結果

●鯖江市小中学生･保護者アンケート調査結果（令和4年～6年実施から抜粋）
対象：小学校4～6年生とその保護者、中学校1,2年生とその保護者

Q.平日の部活動について（中学生）令和6年

満足群
93.2%

不満群
5.9%



# 2.実証内容と成果⑤

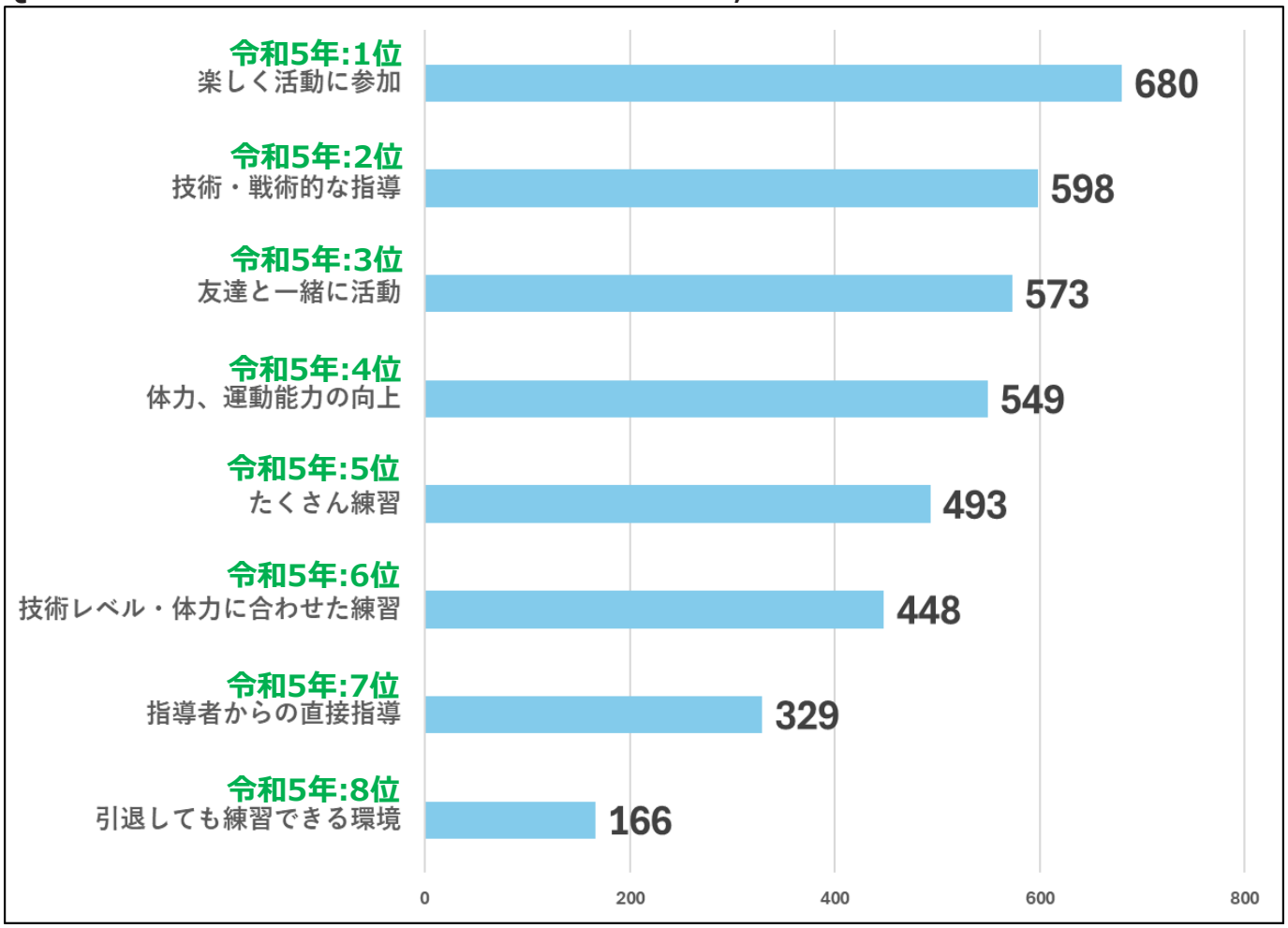
スポーツ庁

## アンケート結果

●鯖江市小中学生･保護者アンケート調査結果（令和4年～6年実施から抜粋）
対象：小学校4～6年生とその保護者、中学校1,2年生とその保護者

Q.休日の活動に期待すること（中学生複数回答）令和5年,6年

単位：人



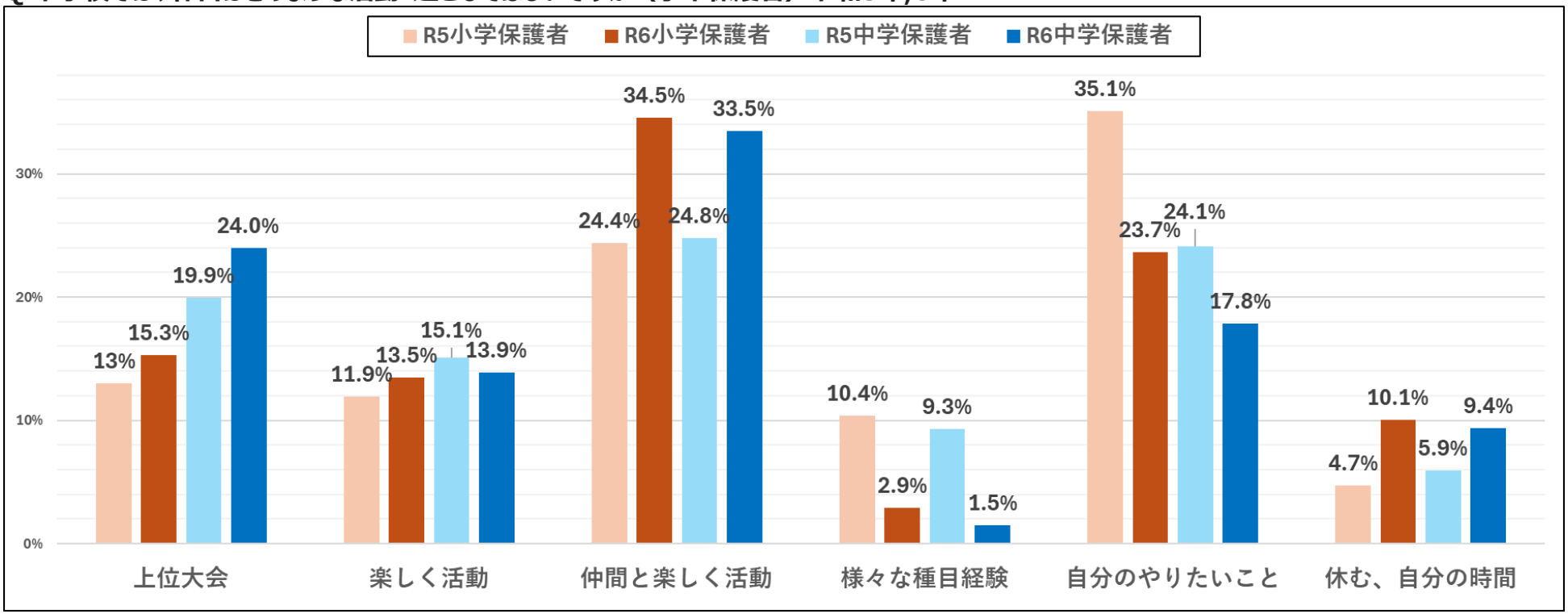
# 2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

## アンケート結果

●鯖江市小中学生・保護者アンケート調査結果（令和4年～6年実施から抜粋）
対象：小学校4～6年生とその保護者、中学校1,2年生とその保護者

Q.中学校では、休日はどのような活動・過ごしてほしいですか（小中保護者）令和5年,6年



# 2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

## 参加者/関係者の声

●参加者/関係者の声

**中学生**
専門的な指導は部活動以上に細かく、私の気が付かないことも指摘してくださいました。また、選手として大切な競技以外の面でも指導していただき、たくさん成長することができました。

**中学生**
基礎練習、個人練習等いろいろな練習ができるので充実した時間を過ごすことができありがたいと思っています。

**指導者**
少ない指導回数の中で子どもたちが何を教えてほしいのかを察する難しさはありますが、数十年前の先輩という身近な立場で子どもたちといっしょに楽しむことができて、充実した時間になっています。

**指導者**
陸上では、競技場を毎週占有で使用できることや専門的な指導者のもと、違うクラブの生徒同士が切磋琢磨しながら練習できることで生徒にとって非常に有意義な時間となっており、恵まれた環境であると感じます。また、小学生や高校生とも練習する機会もあり、縦のつながりもでき、系統的な練習ができています。

**保護者**
仲間と楽しんでほしいのはもちろんだが、勝つ喜びや負ける悔しさを仲間と共に経験したり学んだりしてほしい。中学校の今だから味わえるものだと思う。

# 2.実証内容と成果⑥

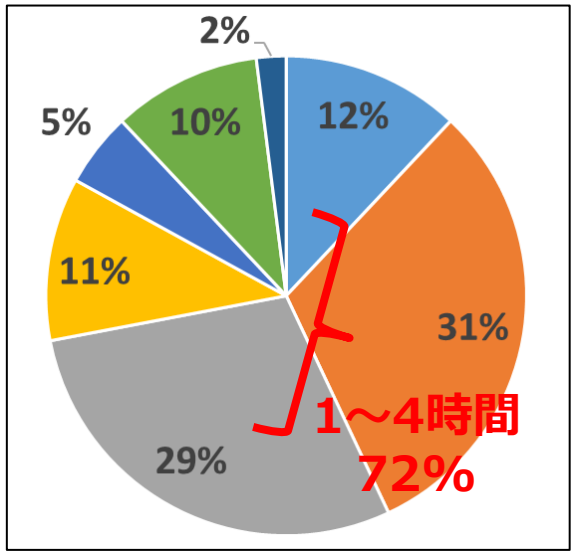
スポーツ庁

## アンケート結果・参加者/関係者の声

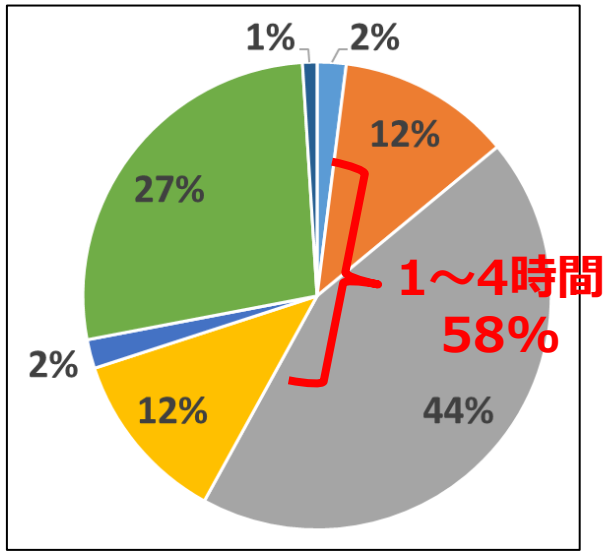
**●鯖江市小中学生・保護者アンケート調査結果（令和4年～6年実施から抜粋）**
**対象：小学校4～6年生保護者、中学校1,2年生とその保護者**

**Q.休日の地域クラブ活動の活動時間はどのくらいがよいと思いますか（中学生・小中保護者）令和5年**

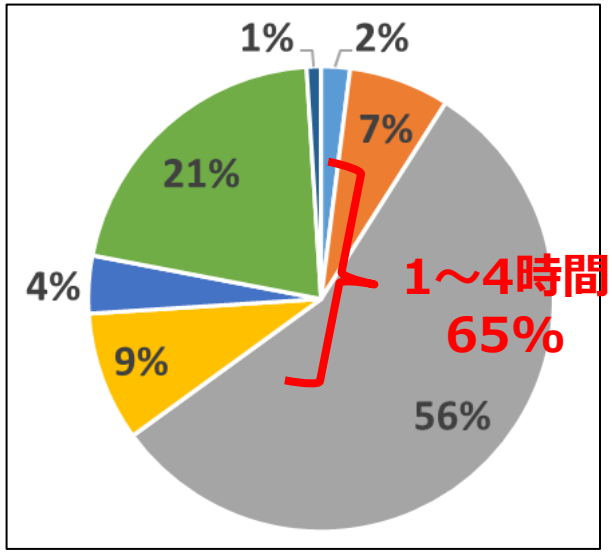
■1時間程度　■2時間程度　■土日のどちらか半日
■土日のどちらか1日間　■休日は両日活動・平日に休養日設置
■それぞれの目標に沿った活動　■その他




中学生




小学生保護者




中学生保護者

**●参加者/関係者の声**

**保護者・指導者**
ガイドライン通りの練習時間では勝てない。もっと練習させる環境が必要ではないか。
他クラブでは、県外遠征にも行っている。同じステージの大会（中体連）で試合をするのは公平ではない。

**指導者**
無理のないペースでの活動の方が長続きするので良いと思う。

**中学生**
大会前等はもっと練習したい。

# 2.実証内容と成果⑦

スポーツ庁

## 参考資料



三クラブ合同練習：陸上



鯖江北CSC：ソフトテニス



さばえSC：新体操



さばえSC：柔道

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

| 令和3年 | 令和4・5年 | 令和6年 | 令和7年 |
|---|---|---|---|
| 検討会設置<br>（中学校、総合型地域スポーツクラブ） | 学校との調整<br>保護者説明<br>練習会場設定<br>指導者発掘 | 協議会設置<br>基本方針策定<br>※運営団体を総合クラブとする | ガイドライン策定<br>地域クラブ活動開始<br>※学校の協力を得ながらの実施 | 学校施設等優先使用<br>公認資格取得支援<br>平日活動協議 | 企業・大学からの指導者派遣<br>新しい価値の創出<br>運営団体・会費関連 |

**●ステークホルダー**

市内中学校

中学校区の総合型地域スポーツクラブ

関係団体（スポーツ協会等）

**●経過**

モデル事業において、検討会を設置し、中学校区の総合クラブに運営を依頼

指導者発掘

**●実施にあたって生じた課題**

中学校側の理解が乏しく、会費が発生等の不安で当初は地域と学校間でなかなか協議が深まらない

指導者派遣難しいとの回答

**●実施内容、工夫した点 等**

国の施策、今後の見通しを少しずつ説明し、事業への協力・理解を得られるよう進めていった

**●ステークホルダー**

中学校・総合型地域スポーツクラブ

**●経過**

令和5年度から7年度末までを学校部活動と地域クラブ活動の併存期間とし、3年間の準備期間を設定

**●実施にあたって生じた課題**

市内中学生のニーズが市内の他総合クラブにある

責任問題

**●実施内容、工夫した点 等**

クラブ間連携が必要であることから、同じ保険加入（市内クラブ参加可）

各クラブが責任を持つこと、物品等の破損への対応のため、団体保険に加入した

**●ステークホルダー**

鯖江市運動・スポーツ推進計画

推進委員会（各種関係団体代表者）

**●経過**

地域クラブ活動の学校施設等の優先利用に関する規則改正を協議

地域クラブ、スポーツ少年団、スポーツ推進委員協議会の公認指導者資格取得支援を協議

**●実施にあたって生じた課題**

施設利用に関しては、各委員から優先すべきとの意見

有資格者の活用の将来ビジョン

**●実施内容、工夫した点 等**

公認指導者になり、どのような活動に協力できるかを示し、理解を深める

**●ステークホルダー**

民間企業、大学

公民館、地域団体

三クラブ統合・会費決定

**●経過**

企業・大学と協議

（指導者派遣）

地域活動への受け皿依頼

クラブ組織再編委員会設置

**●実施にあたって生じた課題**

企業・大学のニーズ対応

地域活動の理解を深める

会費・クラブ統合に関し、総論賛成、各論反対の連続であった

**●実施内容、工夫した点 等**

ビジョンを示し、根気強く説明し、理解を得ていく

# 3.今後の方向性

スポーツ庁

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

| 年度 | R3国モデル事業 | R4国モデル事業 | R5県補助事業 | R6国実証事業 | R7国実証事業 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 国 | モデル期間 | | 改革推進期間 | | | 改革実行期間（前期） | | | 改革実行期間（後期） | | |
| 鯖江市 | 連携（主体は学校、地域と共に） | | | 協働（主体は地域、学校と共に） | | 融合（地域主体） | | | | | |
| | | | 併存期間（平日・休日活動の連携、指導者は協力了解の教職員に協力依頼） | | | 休日完全実施・平日活動はできるところから | | | | | |
| 会議等 | 検討会（中学校、SC） | | 協議会、検討会、三クラブ連絡協議会、中学校長会、（学校）地域クラブ担当者会 | | | | | | | | |
| | | | | | クラブ組織再編会議（新会費・クラブ統合協議） | | | | | | |
| 方針 | | 基本方針策定 | 中学校部活動および地域クラブ活動在り方方針 | 平日活動方針 | 認定クラブ方針 | | | | | | |
| アンケート | | 児童生徒、保護者、教職員アンケート調査 | | | | 実態アンケート調査 | | | 実態アンケート調査 | | |
| 運営 | 市教委運営 | 総括CD配置 | 地域CD・文化CD配置 | | | | | | | | |
| 運営主体 | 運営主体総合型地域SCに依頼 | 中学校区の総合型地域スポーツクラブ運営 | | | | 仮認定 | 認定 | JSPO認定クラブを目指す | | | |
| | | 三クラブ連絡協議会（クラブ運営（マネジメント）、実施主体実施・運営（指導者発掘・育成、リスクマネジメント）、広報（周知）、学校との連携 等 | | | | | | | | | |
| | | ・文化関連を取組むことの合意 | | 平日活動に関して協議・方針決定 | | クラブ事務局一本化 | 業務分担協議中 | | クラブ統合 R8～協議開始 | | |
| | | | | | 民間企業との協議 | 平日・休日指導者派遣 | 希望者面談終了・他候補者模索中 | | | | |
| | | | | | 大学との協議 | 指導者サポート事業 | 大学単位取得可否依頼・確認予定 | | | | |
| | | | | | 危機対応・管理マニュアル作成 | 危機管理対応 | 運営団体・指導者手引き案協議中 | | | | |
| | | | | | | アプリ活用 | 模索中（1月～3月） | | | | |
| | | スポーツ安全保険（三クラブ連絡協議会で加入）、クラブ団体保険加入 | | | | | | | | | |
| 実施主体 | 鯖中：剣道、柔道 | 鯖中：＋ホッケー、女バス、陸上 | さばえSC：運動16種目、文化2種目 | | 運動16種目、文化2種目 | 運動16種目、文化2種目 | R８以降指導者確認・依頼<br>不足指導者：関係団体に依頼 | | | | |
| | 中央：サッカー、バド | 中央：＋剣道、女バス | 鯖北CSC：運動17種目、文化2種目 | | 運動16種目、文化2種目 | 運動15種目、文化2種目 | | | | | |
| | 東陽：男バス | 東陽：＋女バス | 東陽SC：運動12種目、文化1種目 | | 運動11種目、文化1種目 | 運動10種目、文化1種目 | | | | | |
| | | | | | 公民館活動受け皿依頼 | 交流の場の開催 | 公民館・一般団体依頼中<br>NPOセンター依頼予定（障がい者関連含） | | | | |
| | | | | | 地域活動受け皿依頼 | | | | | | |
| | | | 文化部関連地域展開開始 | | | | | | | | |
| 鯖江市 | | 指導者研修会 | | | | | | | | | |
| | | | 小中学校スマートロック設置 | 段階的な運用 | 学校側対応準備期間 | 正式運用 | | | | | |
| | | | 中学校校舎内シャッター設置 | 段階的な運用 | | 正式運用 | | | | | |
| | | | | 「鯖江市運動・スポーツ推進計画」推進委員会 | 中学校施設優先利用（規則改訂） | | | | | | |
| | | | | | 公認スポーツ指導者、文化指導者資格取得支援（スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員協議会） | | | | | | |
| | | | 困窮家庭への支援（準要） | | | | | | | | |